人文知の
新たな総合に向けて

Towards a New Direction in Humanities

21世紀COEプログラム

「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」

第五回報告書

別冊

2007年3月

拠点形成への足跡：主要事業の基礎データ、2002年～2007年

京都大学大学院文学研究科

人文知の
新たな総合に向けて

Towards a New Direction in Humanities

21世紀COEプログラム
「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」

第五回報告書
別冊

拠点形成への足跡：主要事業の基礎データ、2002年～2007年

2007年3月

目次

Ⅰ．研究成果一覧（平成14年10月～19年3月） 1

Ⅱ．国際シンポジウム概要 7

Ⅲ．国外・国内招聘研究者一覧（平成14年10月～18年12月） 37

Ⅳ．京都大学大学院文学研究科学位取得者一覧（平成14年11月～19年１月） 59

Ⅴ．COE研究員名簿ならびに研究題目一覧（COE研究補佐員を含む） 77

緒

21世紀COEプログラム「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」の報告書として、平成14年度から平成17年度まで毎年度末、『人文知の新たな総合に向けて』を刊行してきた。報告書の末尾には、彙報としてプログラムの基礎的データを５項目にわたって示した。今回、そのデータを平成14年度から集計して、一覧できるものとしたのが、本報告書である。平成18年度の第５回報告書『人文知の新たな総合に向けて』はプログラムの最終報告書として研究論集となっているため、このデータ集はその別冊と位置づけたい。

ここに収録したデータは、以下の５種である。期間は平成14（2002）年10月以降、平成19（2007）年１月までであるが、１の研究成果一覧については、平成19年３月末までに刊行の準備が進み、確定しているものも含めた。

Ⅰ. 研究成果一覧
Ⅱ. 国際シンポジウム概要
Ⅲ. 国外・国内招聘研究者一覧
Ⅳ. 京都大学文学研究科学位取得者一覧（課程博士学位者）
Ⅴ. COE研究員名簿ならびに研究題目一覧

本プログラムの実施にさいして、当初、13の研究班が各個別のテーマを掲げて動き、さらに平成16年度以降は、一部班の再編とともに、15の研究班が活動してきた。それらの研究班の活動は、14年度以来、報告書『人文知の新たな総合に向けて』（第１回～第４回報告書）において班ごとに詳細に報告している。それらの報告書を通覧いただければ、班活動の全容がつかめるものと了解している。

われわれのプログラムを進めるにあたって、すべての情報をホームページに掲げ公開のもとで進めてきた。学外研究者その他一般の方々のなかには、ホームページの情報を通してわれわれの活動をはじめて知り、研究会に参加した方々も少なくない。国内外への研究情報の提供にあたって、デジタル情報が持つ意味が大きいことを改めて再確認した。そのこともあり、

本COEの活動の記録としてデジタル情報も残す予定である。ホームページのフロント頁から、さらに国際シンポジウム記録、各班の研究会記録などを網羅的に整理しており、それらを一括CD化するかたちでの保存を行うこととしている。

本書を含めた報告書の刊行、ならびに以上の作業を通して、われわれのCOE活動の概要が手早くつかめるものとなることを期待している。それらがあらたな研究の基盤となれば幸いである。

2007年１月16日

21世紀COEプログラム
「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」
拠点リーダー
紀平英作

Ⅰ．研究成果一覧（平成14年10月～19年3月）

a. 基本報告書

『人文知の新たな総合に向けて　第一回報告書』
京都大学大学院文学研究科　2003年10月

『人文知の新たな総合に向けて　第二回報告書』（全５巻）Ⅰ〔歴史篇〕；Ⅱ〔哲学篇１〕；　Ⅲ〔哲学篇２〕；　Ⅳ〔文学篇１論文〕；　Ⅴ〔文学篇２翻訳・注釈〕京都大学大学院文学研究科　2004年３月

『人文知の新たな総合に向けて　第三回報告書』（上・下巻）
京都大学大学院文学研究科　2005年３月

『人文知の新たな総合に向けて　第四回報告書』（上・下巻）
京都大学大学院文学研究科　2006年３月

『人文知の新たな総合に向けて　第五回報告書』（上・下巻、別冊）
京都大学大学院文学研究科　2007年３月

b. 総括成果

『グローバル化時代の人文学―対話と寛容の知を求めて―』（紀平英作編、上・下巻）
京都大学文学部創立百周年記念論集、京都大学学術出版会　2007年３月

Humaniora Kiotoensia: On the Centenary of Kyoto Humanities,
Graduate School of Letters, Kyoto University, 2006

c. 個別成果

『大地の肖像—絵図・地図が語る世界—』（藤井譲治・杉山正明・金田章裕編）
京都大学学術出版会　2007年 3 月

『17世紀以前の日本・中国・朝鮮関係絵図地図目録』（藤井譲治・杉山正明・金田章裕監修、尾下成敏・井黒忍著）京都大学大学院文学研究科
2007年 3 月

『中国東アジア外交交流史の研究』（夫馬進編）
京都大学学術出版会　2007年 3 月

『知と学びのヨーロッパ史—人文学・人文主義の歴史的展開—』（南川高志編）
ミネルヴァ書房　2007年 3 月

『皇太后の山寺—山科安祥寺の創建と古代山林寺院—』（「王権とモニュメント」研究班編）柳原書店　2007年 3 月

『多元的世界における寛容と公共性—東アジアの視点から—』（芦名定道編）晃洋書房　2007年 3 月

『ディアロゴス—手探りの中の対話』（片柳榮一編）
晃洋書房　2007年 3 月

『文明十四年三月二十六日漢和聯句訳注』（「極東地域における文化交流」研究班編）勉誠出版　2007年 3 月

『享禄以前和漢・漢和聯句集』（「極東地域における文化交流」研究班編）
京都大学大学院文学研究科　2007年 3 月

『「ナボコフ訳注『エヴゲーニイ・オネーギン』」注解』（「『翻訳』の諸相」研究会編）京都大学大学院文学研究科　2007年 3 月

『帝国と市民―苦悩するアメリカ民主政』（紀平英作編）
山川出版社　2003年４月

『歴史としてのヨーロッパ・アイデンティティ』（谷川稔編）
山川出版社　2003年11月

『ヨーロッパ統合の理念と軌跡』（紀平英作編）
京都大学学術出版会　2004年３月

d. ユーラシア古語文献研究叢書

『ウイグル語文献の研究―ウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典テキスト―』（庄垣内正弘著）京都大学大学院文学研究科　2003年３月

Kazuhiko Yoshida, *Studies in Anatolian and Indo-European Historical Linguistics* Graduate School of Letters, Kyoto University, 2004

『中世スラブ語研究 ―「過ぎし年月の物語」の言語と古教会スラブ語 ―』（佐藤昭裕著）京都大学大学院文学研究科　2005年３月

『東トルキスタン・チャガタイ語聖者伝の研究』（濱田正美著）
京都大学大学院文学研究科　2006年３月

Bon sgo gsal byed (Clarification of the Gates of Bon), A Fourteenth Century Bon po Doxographical Treatise,critically edited by Katsumi Mimaki and Samten Karmay, Graduate School of Letters, Kyoto University, 2007

e. 遼文化・慶陵報告書

『遼文化・慶陵一帯調査報告書』
京都大学大学院文学研究科　2005年３月

『遼文化・遼寧省調査報告書』
京都大学大学院文学研究科　2006年 3 月

f. 研究班報告書（平成14年～平成18年）

第11「15・16・17世紀成立の絵図・地図と世界観」研究班
『国際シンポジウム15～16世紀の東アジア地図』（「同」研究班編）
韓國誠信女子大学校韓國地理研究所　2003年 3 月

『絵図・地図から見た世界像』（藤井譲治・杉山正明・金田章裕編）
京都大学大学院文学研究科　2004年 3 月

第13「歴史としてのヨーロッパ・アイデンティティ」研究班
『近世中・東欧における地域とアイデンティティ』（西洋史研究室編）
京都大学大学院文学研究科　2004年 3 月

Material Culture, Mentality and Historical Identity in the Ancient World: Understanding the Celts, Greeks, Romans and the Modern Europeans (ed. Takashi Minamikawa) Kyoto University, 2004

『近代ヨーロッパにおける人文主義の継承と変容―政治文化・古典研究・大学―』（南川高志・小山哲編）
京都大学大学院文学研究科　2005年 3 月

第14「王権とモニュメント」研究班
『京都大学所蔵古瓦図録I』（「王権とモニュメント」研究班編）山野道三コレクション、京都大学大学院文学研究科　2003年 3 月

『安祥寺の研究I―京都市山科区所在の平安時代初期の山林寺院―』
京都大学大学院文学研究科　2004年 3 月

『安祥寺の研究Ⅱ―京都市山科区所在の平安時代初期の山林寺院―』
京都大学大学院文学研究科　2006年３月

『京都大学所蔵瓦図録Ⅱ』（「王権とモニュメント」研究班編）天沼俊一コレクション・日本編、京都大学大学院文学研究科　2007年３月

第22「規範性と多元性の歴史的諸相」研究班
『Academica―学の制度と規範―』（「同」研究班編）
京都大学大学院文学研究科　2003年３月

Rembrandt as Norm and Anti-Norm: Papers given at a colloquium held at the Graduate School of Letters, Kyoto University, December 15, 2002（ed. Toshiharu Nakamura), Graduate School of Letters, Kyoto University, 2004

『京都学派の伝統とカント』（福谷茂編）　2005年３月

Image and Interpretation, Graduate School of Letters, Kyoto University, 2006

第23「多元的世界における寛容性についての研究」研究班
『宗教と寛容』（宗教的寛容研究会編）　2005年４月

『宗教と公共性』（宗教的寛容研究会編）　2006年３月

第32「極東地域における文化交流」研究班
『京都大学蔵実隆自筆和漢聯句譯注』臨川書店　2006年２月

第35「『翻訳』の諸相―異文化翻訳とその受容」研究班
『「ナボコフ訳注『エヴゲーニイ・オネーギン』」注解（２）』
京都大学大学院文学研究科　2005年３月

『「ナボコフ訳注『エヴゲーニイ・オネーギン』」注解（3）』
京都大学大学院文学研究科　2006年3月

Ⅱ．国際シンポジウム概要

１．COE実施委員会主催の国際シンポジウム(文学研究科との共催)

（１）「歴史学の現在を問う」

日時：2002年11月30日（土）10：30～17：00
場所：京都大学大学院文学研究科新館第３講義室

プログラム
午前
ロータール・フォン・ファルケンハウゼン
（カリフォルニア大学ロサンジェルス校教授）
講演「現代考古学による中国古代史再考」

午後
報告１　夫馬進「朝鮮燕行使と朝鮮通信使」
コメンテーター：藤井譲治
（京都大学大学院文学研究科教授、日本史学）
報告２　永井和「万機親裁体制の成立―明治天皇はいつから近代の天皇となったのか―」
コメンテーター：吉川真司
（京都大学大学院文学研究科助教授、日本史学）
報告３　谷川稔「究極のナショナル・ヒストリー？
―ピエール・ノラと「記憶の場」―」
コメンテーター：杉本淑彦
（京都大学大学院文学研究科教授、二十世紀学）

（2）「自然という文化」の射程

日時：2002年12月2日（月）13:00〜17:00
場所：京大会館101号室

プログラム
基調講演
オギュスタン・ベルク
（フランス国立社会科学高等研究院教授、哲学・風土論）
シンポジウム
加藤尚武（鳥取環境大学長、京都大学名誉教授、倫理学）
内山勝利（京都大学大学院文学研究科教授、西洋古代哲学史）
藤田正勝（京都大学大学院文学研究科教授、日本哲学史）
岩城見一（京都大学大学院文学研究科教授、美学芸術学）
司会：片柳榮一（京都大学大学院文学研究科教授、キリスト教学）

（3）「文学と言語に見る異文化意識」

日時：2003年12月6日（土）10:30〜17:00
場所：京都大学大学院文学研究科新館第3講義室

プログラム
講演
ピーター・コーニツキ（ケンブリッジ大学教授・日本学）
「江戸前期の女性と漢籍」
報告1　大谷雅夫（京都大学大学院文学研究科教授・国文学）
「国文学と中国文学―『鏡』について―」
コメント：横地優子（京都大学大学院文学研究科助教授
・サンスクリット文献学）
報告2　西村雅樹（京都大学大学院文学研究科教授・ドイツ文学）
「若きウィーン派と日本」
コメント：増田眞（京都大学大学院文学研究科助教授・フランス文学）

報告３　庄垣内正弘（京都大学大学院文学研究科教授・言語学）
「言語から見る『古代ウィグル』の世界」
コメント：木田章義（京都大学大学院文学研究科教授・国語学）

（４）「空間の行動文化学」

日時：2004年12月４日（土）
場所：京都大学百周年時計台記念館大ホール

プログラム
講演
Gilles Fauconnier
（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授、認知科学）
“Space, Motion, and Abstract Thought”
指定討論者：板倉昭二（京都大学大学院文学研究科助教授、心理学）

報告
1　苧阪直行（京都大学大学院文学研究科教授、心理学）
「意識のワークスペース」
指定討論者：白井聡子
（京都大学大学院文学研究科講師、言語学）

2　嘉田由紀子（京都精華大学人文学部教授、環境社会学）
「環境空間の社会学」
指定討論者：田中和子
（京都大学大学院文学研究科教授、地理学）

3　石川義孝（京都大学大学院文学研究科教授、地理学）
「日本における人口移動転換」
指定討論者：松田素二
（京都大学大学院文学研究科教授、社会学）

司会・進行
田窪行則（京都大学大学院文学研究科教授、言語学）

（5）「京都と北京：光の交わるところ-学問知から人類知へ」

日時：2005年12月17日
場所：京都大学時計台・百周年記念ホール

プログラム
午前の部：特別議題「グローバル化と日中のゆくえ」
紀平英作（京都大学大学院文学研究科）
「二十世紀東アジア国際関係の形成と展開
—アメリカ・日本そして中国—」
牛大勇（北京大学歴史学部）
「米中関係の過去と未来—日本とのかかわりのなかで」
ディスカッション
司会：杉村淑彦（京都大学大学院文学研究科）
ディスカッサント：永井和（京都大学大学院文学研究科）
王鏗（北京大学歴史学部）

午後の部：総合討論「人文系学術の過去・現在・将来」
報告
1、「アジアからの発信」
閻歩克（北京大学歴史学部）
「古代中国の王朝と服制」
吉川真司（京都大学大学院文学研究科）
「国際交易と古代日本」
2、「中華をこえて」
栄新江（北京大学歴史学部）
「新発見の中国中世史」
中砂明徳（京都大学大学院文学研究科）
「イエズス会士の眼で世界を見る」

3、「学問と社会」
陳平原（北京大学中文学部）
「文学史の視野のなかの大学」
南川高志（京都大学大学院文学研究科）
「西洋古代史研究の発展と東洋人学者の立場」

総括
コメント：鄧小南（北京大学歴史学部）
根立研介（京都大学大学院文学研究科）

司会・進行
平田昌司（京都大学大学院文学研究科）

（6）Kyoto-Cambridge International Symposium
"Integrating the Humanities: the Roles of Classics and Philosophy"

日時：2006年9月25日（月）
場所：Faculty of Classics, Cambridge

プログラム

Morning Session (10:00－)

Chair: Kunitake Ito

Speakers: David Sedley (The University of Cambridge): Hesiod's Theogony and Plato's Timaeus
Shinsuke Kawazoe (Kyoto University): The Classical Traditions in Medieval Scholastic Philosophy
Elizabeth Craik (The University of St. Andrews & Kyoto University): Classical Studies in Britain and Japan

Afternoon Session (divided into Philosophy and Classics Session)（13:45－）

Classics Session Theme: The Role of Classics as a Discipline of Integration

Sub-section 1: Classical Studies: Continuity and Change

Chair: Elizabeth Craik

Speakers: Hiroyuki Takahashi (Kyoto University): Classical Tradition: a continuum from here to eternity

Richard Hunter (The University of Cambridge): Creating the Classical Tradition

Atsuhiko Hirota (Kyoto University): Othello and Shakespeare's Rewritings of the Aeneid

Sub-section 2: Role and Possibility of Ancient History and Classical Archaeology

Chair: Fergus Millar (The University of Oxford)

Speakers: Robin Osborne (The University of Cambridge): The Role and Possibility of Ancient History in Britain

Takashi Minamikawa (Kyoto University): Ancient History in Japan: Past, Present and Future

Satoshi Koyama (Kyoto University): Classical Language as a Medium of Cultural Communication in Early Modern Europe: Latin in the Polish-Lithuanian Commonwealth in the 16-18th Centuries

Philosophy Session

Sub-section 1: Ramsey on Decision Theory and Universals

Chair: Kunitake Ito

Speakers: Hugh Mellor (The University of Cambridge): Objective Decision Theory

Nils-Eric Sahlin (Lund University): Ramsey, Knowledge and Mechanisms

Sub-section 2; Holism and Realism: Mind the Gap between Duhem and Quine

Chair: Yasuo Deguchi (Kyoto University)

Speakers: Michio Kobayashi (Kyoto University): Holism and Realism − Mind the Gap between Duhem and Quine

Donald Gillies (University College London): Comments on Kobayashi

Sub-section 3: Self and Mind: if Ancient Greeks Had Attended Today's Debates

Chair: Terumasa Ohkusa (Kyoto University & The University of Cambridge)

Speakers: Christopher Gill (The University of Exeter): Galen and the Stoics: Psychology and Neuroscience

Masashi Nakahata (Kyoto University): Intentional Inexistence: An Ambiguous Heritage from Aristotle

（7）「グローバル化時代の人文学―対話と寛容の知を求めて」

日時：2006年12月２日（土）10時～17時
場所：京都大学大学院文学研究科新館第３講義室

プログラム

午前の部

基調報告：小山哲教授（西洋史学専修）

「〈我らは異なる信仰のために血を流さない〉

—近世ポーランドにおける諸宗派共存体制をめぐって—」

コメンテーター：氣多雅子教授（宗教学専修）
永盛克也助教授
（フランス語学フランス文学専修）
司会：夫馬進教授（東洋史学専修）

午後の部
基調報告：芦名定道助教授（キリスト教学専修）
「宗教的多元性とキリスト教—東アジアを中心に」
コメンテーター：永井和教授（現代史学専修）
御牧克己教授（仏教学専修）
司会：川添信介教授（西洋中世哲学史専修）

基調報告：赤松明彦教授（インド古典学専修）
「インド的寛容について」
コメンテーター：濱田正美教授（西南アジア史学専修）
福谷茂助教授（西洋近世哲学史専修）
司会：西村雅樹教授（ドイツ語学ドイツ文学専修）

京都大学大学院文学研究科21世紀COEプログラム
「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」を締めくくるにあたって
紀平英作教授（本プログラムリーダー）

上記（２）～（７）の報告書もしくはproceedingsについては、以下の通りである。
注：（１）については、第１回報告書の中にレジュメを掲載した。
（２）『「自然という文化」の射程』
京都大学大学院文学研究科　2003年３月
（３）『文学と言語に見る異文化意識』
京都大学大学院文学研究科　2004年３月

（４）『空間の行動文化学』
京都大学大学院文学研究科　2005年３月
（５）『京都と北京―日中をむすぶ知の架橋』（紀平英作・吉本道雅編）角川書店　2006年12月
（６）*Integrating the Humanities: the Roles of Classics and Philosophy*, The Graduate School of Letters, Kyoto University, 2006
（７）『シンポジウム「グローバル化時代の人文学―対話と寛容の知を求めて」』京都大学大学院文学研究科、2007年２月

２．各研究班主催の国際シンポジウム

a. 第11「15・16・17世紀成立の絵図・地図と世界観」研究班主催シンポジウム

（１）「15～16世紀の東アジア地図」

日時：2003年３月５日15:00～18:00
場所：ソウル大学湖巖館 Maple Room

プログラム
杉山正明（京都大学）
「東西の地図が示すモンゴル時代の世界像」
楊普景（誠信女子大学）
「15～17世紀、朝鮮の世界地図と世界認識」
井上充幸（総合地球環境学研究所）
「混一歴代国都疆理地図」等の解説

（２）「15～17世紀成立の絵図・地図を考える」

日時：2003年３月14日（金）14:00～17:30、15日（土）10:00～18:00
場所：３月14日京都大学附属図書館（14:00～15:50）、京都大学総合博物館（16:00～17:30）、３月15日文学部陳列館

プログラム

3月14日（金）

「坤輿万国全図」「寛永平安町古図」、宮崎市定氏旧蔵地図等の熟覧

「混一疆理歴代国都之図」「本朝図鑑綱目」「南瞻部州万国掌菓之図」や、杉山正明氏所蔵の「カタルーニャ地図」の写真等の熟覧

3月15日（土）

井上充幸（総合地球環境学研究所）

「中国・朝鮮・日本における楊子器系『混一疆理図』の展開—『天文図』との関係を中心に—」

野島正宏（NHKエンタープライズ21）

「地図情報アーカイブス構築に向けての検討要素」

杉本史子（東京大学）

「日本近世における巨大絵図—国絵図—」

李啓煌（韓国・仁荷大学）

「朝鮮古地図発達の概略—朝鮮時代前期を中心に—」

李孝聡（中国・北京大学）

「現存する15－17世紀の『中文世界地図』」

（3）「描かれた世界観—15世紀以降の日本・東アジア・世界—」

日時：2003年9月27日（土）13:00から、28日（日）9:30から
場所：京都大学文学部陳列館1階会議室

プログラム

9月27日（土）

木田知生（龍谷大学）

「中国歴史地理学の現況」

橋本雄（九州国立博物館設立準備室）

「新発見伊能図とその周辺」

楊普景（誠信女子大学校）
「17世紀　朝鮮本　天下輿地図の考察」
9月28日（日）
應地利明（滋賀県立大学）
「カンティーノ図（1502年）の読解と「遊解」」
Kenneth Robinson (ICU)
「朝鮮前期に作成された日本図とその流布」
村井章介（東京大学）
「銀山と海賊
—16世紀後半のヨーロッパ製地図に描かれた日本列島周辺—」

（4）「第4回国際シンポジウム」

日時：2004年7月10日（土）13:00から、11日（日）10:00から
場所：京都大学文学部陳列館1階会議室

プログラム
報告
Kenneth Robinson (ICU)
「朝鮮時代における世界図の中の朝鮮」
水本邦彦（京都府立大学）
「絵図に見る日本近世の村落景観」
川村博忠（東亜大学）
「近世日本における世界像の展開」
Valerie Hansen（イェール大学）
「Maps and Itineraries on the Silk Road During the First Millennium」
中務哲郎（京都大学）
「プトレマイオス「世界図」とその時代」

座談会：金田章裕（京都大学）、杉山正明（京都大学）、
川添信介（京都大学）、中務哲郎（京都大学）

（５）「絵図地図が語る歴史世界」

日時：2005年３月19日（土）13:00から、３月20日（日）10:00～18:00
場所：京都大学大学院文学研究科新館第９演習室

プログラム
３月19日（土）
紀平英作（京都大学大学院文学研究科）
「連邦共和国誕生の意味―大陸膨張論理の制度化―」
金田章裕（京都大学大学院文学研究科）
「英領植民地の地図作成―北米・オーストラリアの場合―」
劉錚雲（中央研究院歴史言語研究所）
「飯塚一教授寄贈の故宮博物院の古地図」

３月20日（日）
張小鋭（中国第一歴史档案館）
「康熙年間に清朝が作製した黄河地図」
劉若芳（中国第一歴史档案館）
「大明混一図の解析」
杉山正明（京都大学大学院文学研究科）
「混一彊理歴代国都之図に見える西方地図」
郭美蘭（中国第一歴史档案館）
「中国第一歴史档案館所蔵の満州語地図とその研究価値」

b. 第12「東アジアにおける国際秩序と交流の歴史的研究」研究班主催

（１）「第一回国際シンポジウム（第二回研究会）」

日時：2003年２月22日（土）13:00～17:30、22日（日）13:00～17:30
場所：京都大学大学院文学研究科東館４階COE会議室

プログラム

2003年２月22日（土）

夫馬進（京都大学文学研究科）

「朝鮮李裕元『薊槎日録』に見える中国李鴻章との交渉について」

李成珪（ソウル大学校）

「明清史書の朝鮮記事に対する朝鮮の是正外交」

2003年22日（日）

高嶋航（京都大学文学研究科）

「清末不纏足会再考―誰が纏足を解放したのか？」

范金民（南京大学）

「朝鮮人の目で見た大運河風景
―崔溥『漂海録』を中心として―」

（２）「第二回国際シンポジウム」一極と多極の間―13～19世紀の東アジア

日時：2004年１月10日（土）10:00～16:30、11日（日）13:00～17:30
場所：京都大学大学院文学研究科東館４階COE会議室

プログラム

2004年１月10日（土）

張東翼（慶北大学校（韓国）教授・京都大学文学研究科招聘教授）

「1269年「大蒙古国」中書省の牒と日本側の対応」

デイビッド・ロビンソン（コルゲート大学（アメリカ）準教授）

「モンゴル元朝の遺産と明朝の皇室」

2004年１月11日（日）

杜家驥氏（南開大学（中国）教授）

「清朝と漠北モンゴルにおける政略結婚の諸問題」

河政植氏（崇実大学校（韓国）教授・京都大学文学研究科招聘教授）

「危機のなかの王朝と幕府」

（3）「第三回国際シンポジウム（第九回研究会）」

日時：2005年1月8日（土）14:00～18:00、1月9日（日）14:00～18:00
場所：京都大学大学院文学研究科東館4階COE会議室

プログラム
2005年1月8日（土）
村尾進（天理大学助教授）
「十八世紀の都市広州―長崎との対称性と『澳門学』の意義―」
熊月之（上海社会科学院歴史学研究所所長）
「開放と調節―開港初期の上海における混合型社会の形成―」

2005年1月9日（日）14:00～18:00
余新忠（南開大学副教授）
「清末における衛生概念の近代化」
吉澤誠一郎（東京大学助教授）
「近代天津における廟会と社会組織」

（4）「第四回国際シンポジウム（第13回研究会）」

日時：2006年1月7日（土）14:00～17:00、1月8日（日）14:00～17:00
場所：京都大学百周年時計台記念館会議室

プログラム
2006年1月7日（土）
夫馬進（京都大学文学研究科教授）
「18世紀における日・朝学術関係の転換
―朝鮮燕行使と朝鮮通信使―」
片岡龍（東北大学文学研究科講師）
「近世日本思想における認識枠組みの転換」

2006年１月８日（日）
金文植（檀国大学校（韓国）助教授）
「朝鮮後期考証学の受容様相
—毛奇齢の経学を中心として—」
張寿安（中央研究院近代史研究所（台湾）研究員）
「18世紀清代漢・宋学の争いの一つの焦点—礼・理争議—」

c. 第13「歴史としてのヨーロッパ・アイデンティティ」→「ヨーロッパにおける人文学知形成の歴史的構図」研究班主催

（１）「古代世界における物質文化、意識そして歴史的アイデンティティ—ケルト人、ギリシア人とローマ人、そして近代ヨーロッパ人の理解のために—」

日時：2003年９月20日（土）10:15〜17:15
場所：キャンパスプラザ京都

プログラム
第１部　古代ギリシア人　10:25〜12:00
栗原麻子（奈良大学文学部専任講師）
「”Quiet Athenian” の市民的アイデンティティ」
アレクシ・ドクゥ（関西外国語大学講師）
「Embracing defeat, becoming Roman and staying Greek: an identity crisis ?」
以上の２報告に関するコメント　庄子大亮（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）

質問

第２部　ケルト人　12:50〜14:25
疋田隆康（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）
「ケルト人とガリア人：その定義における地理的区分とエスニシティ」

ジリアン・カー
（ケンブリッジ大学ヒューズ・ホール・リサーチ・フェロー）
「Killing the “Celts”: the demise of a paradigm」
以上の2報告に関するコメント　南川高志（京都大学大学院文学研究科教授）

質問

第3部　ローマ人　14:35〜16:10
キャサリン・クラーク
（オックスフォード大学セント・ヒルダス・コレッジ・フェロー）
「Ever-increasing circles: constructing the world of the Roman empire」
クリストファー・ケリー
（ケンブリッジ大学コーパス・クリスティ・コレッジ・フェロー）
「Past Imperfect: the Formation of Christian Identity in Late Antiquity」

以上の2報告に関するコメント ニール・マクリン（慶応大学法学部教授）

質問

全体討論　16:10〜17:10

（2）「近世中・東欧における地域とアイデンティティ
Regions and Identity in Central and Eastern Europe in the Early Modern Period」

日時：2004年3月6日（土）10:30〜17:00
場所：京都大学百周年時計台記念館　国際交流ホール

プログラム

1. Hubert Łaszkiewicz
（ルブリン・カトリック大学〔ポーランド、ルブリン〕）
「東へ、そして西へ—さまよえる東中欧のアイデンティティ」
2. Thomas Winkelbauer（ヴィーン大学オーストリア史研究所）
「16, 17世紀のボヘミア、オーストリア諸邦における貴族のアイデンティティの諸要因」
3. Stephen C. Rowell
（リトアニア歴史学研究所〔リトアニア、ヴィルニュス〕）
「リトアニアにおけるアイデンティティの歴史的変容
—中近世から現代まで」

コメント

羽場久泥子（法政大学）
野村真理（金沢大学）
大津留厚（神戸大学）
西川杉子（神戸大学）
小山哲（京都大学）

質疑応答

司会：服部良久・小山哲

（3）「近代ヨーロッパにおける人文主義の継承と変容
—政治文化・古典研究・大学—」

日時：2005年3月6日（日）10:30〜17:30
場所：京都大学大学院文学研究科　文学部新館第3講義室

プログラム

1. エドヴァルト・オパリンスキ
（ポーランド科学アカデミー歴史学研究所）

「16・17世紀のポーランドにおける政治文化と人文主義的教養」
2. 森村敏己（一橋大学、近代フランス史）
「教訓としての古代―商業的繁栄は亡国への道か？―」

コメントその１：皆川卓（早稲田大学、近世ドイツ史）

3. ヴェルナー・エック（ケルン大学、古代ローマ史・ラテン碑文学）
「19世紀以降のドイツにおける古代史の発展
―その文化的・政治的背景から―」
4. 葛西康徳（新潟大学、ギリシア古典学・法学）
「19世紀イギリスにおける古典学の戦略とライバルたち
―オクスフォード大学ベイリオル・コレッジを例として―」

コメントその２：栗原 麻子（大阪大学、古代ギリシア史）

論点開示：小山哲（京都大学、近世ポーランド史）
全体討議
討論司会：服部良久（京都大学、中世ドイツ史）
閉会の辞
服部 良久

（４）国際セミナー「ヨーロッパ中世における「過去」の表象と記憶の伝承―領邦・修道院・都市の歴史叙述を中心に―」

日時：2006年３月11日（土）13：00～17：30
場所：京都大学大学院文学研究科新館大会議室（地下）

プログラム
基調報告
ペーター・ヨハネク（ミュンスター大学・比較都市史研究所所長）
「中世後期のドイツにおける過去の叙述と表象」

コメント
1. 徳橋曜（富山大学助教授）
「記憶とアイデンティティ―中世イタリアの都市年代記―」
2. 青谷秀紀（神戸大学大学院文学研究科助手）
「君主の記憶、都市の記憶
―中世後期フランドルの歴史叙述と記憶文化―」
3. 轟木広太郎（関西大学非常勤講師）
「「中世フランスの歴史叙述―比較の視点から―」
全体討論

d. 第15「帝国システムの政治・文化的比較研究」研究班主催

（1）「帝国におけるアジア表象―西洋人の目に映った東洋」
（科研「近代の日本・西洋・中国における外国人イメージの総合的研究」共催）

日時：2005年 9 月21日（水）13:00～18:15
場所：京都大学大学院文学研究科新館第 1 講義室

プログラム
第 1 報告　13:10～14:25（報告時間 1 時間、質疑応答15分）
報告者：島大吾（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）
題目：「アメリカ映画に見る中国イメージ」

第 2 報告　14:40～15:55（報告時間 1 時間、質疑応答15分）
報告者：東田雅博（金沢大学）
題目：「近代イギリスの中国観―陶磁器の文様に浮かぶ中国」

第 3 報告　16:10～17:25（報告 1 時間、質疑応答15分）
報告者：Walter Demel（ミュンヘン大学）
題目：「ヨーロッパ人の目にうつった日本と中国の法制度」

総合討議　17:30

（２）「第26回研究会　（国際シンポジウム）」

日時：10月14日（土）　午後１時～５時半
場所：京都大学大学院文学研究科新館第一講義室

プログラム
報告者：王若（中華人民共和国、旅順博物館）
「日露戦争と旅順」
武田雅哉（北海道大学文学研究科）
「＜倭奴＞から＜鬼子＞へ
―日清戦争時期、中国人が描いた日本人像」

e. 第21「現代科学・技術・芸術と多元性の問題」研究班主催

（１）「THE ROAD TO THE ORIGIN, An International Symposium on Darwin」

日時：2004年３月18日（木）14:00～17:00
場所：京都大学百周年時計台記念館　国際交流ホール

プログラム
Randal Keynes, the author of Annie's Box, Charles Darwin, his Daughter and Human Evolution
James Moore, the author of Darwin, the Life of a Tormented Evolutionist (with A. Desmond)
Mariko Hasegawa, the author of many books and a leading figure among the Japanese evolutionary biologists
Chair: Soshichi Uchii, a maverick philosopher of science and a Darwinian

f. 第22「規範性と多元性の歴史的諸相」研究班主催

（1）「イメージと解釈」

日時：2005年９月10日（土）・11日（日）
場所：京都大学大学院文学研究科新館

プログラム
9月10日　第１、第２講義室
講演　10:30〜12:00
岸文和（同志社大学）
「視覚イメージのプラグマティクス―浮世絵を手がかりに―」
研究発表　13:30〜15:20
中畑正志（京都大学）
「現われとイメージ―想像力の系譜―」
宇佐美文理（京都大学）
「中国藝術論における形と象」
研究発表　15:50〜17:40
秋山聰（東京学芸大学）
「聖性の伝染―聖遺物からイメージへ―」
平井靖史（福岡大学）
「鏡映するイマージュの内と外
―ベルクソン『物質と記憶』第一章から―」
９月11日　文学部新館第３講義室
講演　13:00〜15:30
ニルス・ビュットナー（ドルトムント大学）
「アルス・コスモグラフィア
近世初期ヨーロッパにおける風景画と世界形状誌」
ポール・クラウザー（ブレーメン国際大学）
「絵の内在的意味」
パネルディスカッション　16:00〜18:00
「イメージを語る・語るイメージ
―哲学と美術史からのアプローチ」

司会：岩城見一（京都国立近代美術館）
パネリスト：秋山聰、宇佐美文理、岸文和、中畑正志、平井靖史

g. 第23「多元的世界における寛容性についての研究」研究班主催

（1）「宗教間対話と平和思想の構築―現状と課題」

日時：2003年10月25日（土）14:00～17:30
場所：京都大学大学院文学研究科新館第7講義室

プログラム
シンポジウムの趣旨説明
芦名定道（コーディネーター・京都大学大学院文学研究科助教授・キリスト教学）
「宗教的多元性と平和思想―キリスト教の場合」

第1部：パネラーからの提題
1. 氣多雅子（京都大学大学院文学研究科教授・宗教学）
「日本仏教者と平和思想」
2. 金文吉（釜山外国語大学教授）
「内村鑑三の平和思想と朝鮮無教会の動向」
3. 許油（大韓仏教研究所所長・法然院住職）
「朝鮮仏教の対話と平和思想」

第2部：討論
1. コメンテーターからのコメント
落合恵美子（京都大学大学院文学研究科助教授・社会学）
岩城聰（京都大学大学院文学研究科博士後期課程・キリスト教学）
2. 討論
3. フロアーから

（２）「東アジアにおける宗教間対話の意義―日韓キリスト教の役割」

日時：2004年10月22日（金）
場所：釜山外国語大学（韓国）

プログラム
コーディネーター
金文吉（釜山外国語大学教授）
パネラー
芦名定道（京都大学大学院文学研究科助教授）
李象奎（高神大学神学部教授）
金承哲（金城大学人間科学部教授）
コメンテーター
崔鏡錫（慶星大学神学部教授）
佐々充昭（慶応義塾大学・東京経済大学非常勤講師、ソウル大学博士/哲学）

（３）「多文化社会における寛容性に関する日中若手ワークショップ」

日時：2005年11月４日（金）～５日（土）
場所：上海第二工業大学社会学研究所（中国）

プログラム
コーディネーター
楊総（上海第二工業大学日本語研究所教授）
パネラー
松田素二（京都大学大学院文学研究科教授）
報告・コメンテーター
野村明宏（四国学院大学社会学部助教授）
鍋倉聰（滋賀大学経済学部講師）
坂部晶子（日本学術振興会特別研究員・京都大学）
ライカイ・ティボール（京都大学文学研究科博士課程）

黄子育（京都大学文学研究科博士課程）

（４）「宗教の多元的状況と仏教」

日時：2005年11月24日（木）
場所：釜山グランドホテル（韓国）

プログラム
基調講演
氣多雅子（京都大学大学院文学研究科教授）
コーディネーター
芦名定道（京都大学大学院文学研究科助教授）
金文吉（釜山外国語大学教授）
コメンテーター
李道業（東国大学教授）
Alok Kumar Roy（釜山外国語大学教授）
姜東俊（東亜大学教授）

（５）「多元的世界における宗教的寛容と公共性―東アジアの視点から」

日時：2006年11月18日（土）13:30～17:30
場所：京都大学大学院文学研究科新館第７講義室

プログラム
基調講演
澤井義次（天理大学教授）
「多元的世界における宗教的寛容と公共性
―東アジアの視点から」

公開討論「東アジアにおける多元社会の展開とその諸問題
―宗教・民族」

提題１
芦名定道（京都大学文学部助教授）
「宗教的多元性の諸問題―東アジアのキリスト教の比較研究」
提題２
飯田剛史（富山大学経済学部教授）
「日本における多民族共生のゆくえ―民族祭りの視点から」
提題３
楊聡（上海第二工業大学日本語研究所教授）
「社会的寛容性と歴史認識―中国と日本の関係から」
提題４
金文吉（釜山外国語大学校東洋語大学教授）
「現代韓国における宗教的多元性と寛容
―仏教とキリスト教との対話」

h. 第32「極東地域における文化交流」研究班主催

（１）「第七回「乾の会」　日韓文化交流シンポジウム」

日時：2004年１月15日　13:00～18:00
場所：京都大学大学院文学研究科新館第６講義室

プログラム
講演１
金文京教授（京都大学人文科学研究所）
「高麗人の元朝における活動―李斉賢の蛾眉山行を例として」
講演２
藤本幸夫教授（富山大学）
「覆朝鮮本について」
講演３
鄭光教授（高麗大学）
「李朝の日語教育とその教科書―倭語類解を中心に―」

（2）「第十二回「乾の会」シンポジウム　中国語における否定」
（「日本中国語学会」共催）

日時：2004年11月6日　13:20～16:30
場所：京都大学時計台記念館100周年記念ホール

プログラム
第一部報告　司会：張猛（京都女子大学教授）
劉丹青（中国社会科学院語言研究所教授）
「漢語否定詞形態句法類型的方言比較」
通訳：沈力（同志社大学助教授）
曹志耘（北京語言大学教授）
「呉語湯渓方言的否定詞」
通訳：中西裕樹（京都大学人文科学研究所助手）
第二部報告　司会：木村英樹
（東京大学大学院人文・社会系研究科教授）
杉村博文（大阪外国語大学教授）
「否定情報の獲得と応用」
通訳：李長波（京都大学大学院人間・環境学研究科助手）
田窪行則（京都大学大学院文学研究科教授）
「理論言語学からのコメント」
通訳：楊凱栄（東京大学大学院総合文化研究科教授）
討論　司会：木村英樹

（3）「文化における〈自己〉と〈他者〉―異文化との接触―」

日時：2005年7月2日　13:00～17:30
場所：京都大学大学院文学研究科新館第1講義室

プログラム
講演
マシュー・フレーリ（ハーバード大学大学院生）

「他山の石―奥儒者成島柳北と西洋の出会い」
沈慶昊（高麗大学教授）
「李朝後期の儒学における相対主義的観点の擡頭について」
孫昌武（南開大学教授）
「インド仏教の中国文化に対する影響」
沓掛良彦（東京学芸大学教授、東京外国語大学名誉教授）
「中世におけるイスラームと西欧の融合
―『ハルチャ』をめぐって」

（講演順）

討議
講演者および会場の出席者による討議

i. 第34「文学と言語を通して見たグローバル化の歴史」研究班主催

（1）「文化移植と遠隔照応」

日時：2003年11月20日（木）14:00～17:00
場所：京大会館

プログラム
研究発表
エンゲルベルト・ヨリッセン（京都大学人間環境学研究科助教授）
「植民地政策と言葉
―インド英文学の問題をめぐって」（日本語）
エリザベス・クレイク（元京都大学文学研究科教授）
「Knife and Fire 西の切開術と東の鍼灸術」（英語）

司会・コメンテーター：西村雅樹、中務哲郎

（２）「Colin Austin 教授特別講演会」

日時：2004年６月１日（火）15:00〜17:00
場所：京大会館

プログラム
講師：C. F. L. Austin （ケンブリッジ大学古典学部教授）
演題：Greek Comedy: how it all started.

j. 第35研究班主催

（１）国際フォーラム「ロラン・バルト、多才の人」
（関西日仏学館・京都大学博物館共催）

日時：　2004年 1月24日（土）午後 1時より
場所：　関西日仏学館　稲畑ホール

プログラム
第１部　講演　13:00〜14:30
講演：ルイ＝ジャン・カルヴェ（エクス＝アン＝プロヴァンス大学教授）「ロラン・バルトと写真」
通訳：松島征（京都大学）
第２部　パネル・ディスカッション　15:00〜17:30
報告：（日本語）
永盛克也（京都大学）「ロラン・バルトと演劇」
大浦康介（京都大学）「バルト　アンチモダン」
篠原資明（京都大学）「バルトと絵画的なもの」
小林康夫（東京大学）「孤独と幸福」
司会：吉田城（京都大学）

（2）「プーシキンの『エヴゲーニイ・オネーギン』とナボコフによる英訳・注釈について」

日時：2005年 12月 11日（日）　14:00～17:00
場所：京大会館 101号室

プログラム
川端香男里（東京大学名誉教授・川端康成記念館理事長）
「ロシア文学作品の翻訳について
—ナボコフの翻訳と注釈をめぐって」
Julian W. Connolly（ヴァージニア大学教授）
「Vladimir Nabokov's Translation of Pushkin's Eugene Onegin」

k. 第36「言語と論理における普遍性と個別性」研究班主催

（1）「International Symposium on Conditionals」

日時：January 21－23, 2005
場所：Kyoto University

プログラム
Invited Speakers:
Cleo Condoravdi (PARC and Stanford University)
Tim Fernando (Trinity College, Dublin)
James Higginbotham (University of Southern California)
Frank Veltman (University of Amsterdam)

Ⅲ．国外・国内招聘研究者一覧（平成14年10月～18年12月）

以下は21世紀COEプログラム「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」に係わって招聘した研究者の一覧である。

国外

平成14年

周藤　多紀	セントルイス大学哲学科・博士課程	12月12日～１月８日

平成15年

范　　金民	南京大学歴史系・教授	２月20日～３月１日
李　　成桂	ソウル大学人文大学・教授	２月20日～３月１日
李　　鍾振	梨花女子大学中語中文学科・教授	３月２日～５日
李　　炳漢	ソウル大学・名誉教授	３月２日～５日
李　　啓煌	仁荷大学文科大学・教授	３月13日～17日
李　　孝聡	北京大学歴史系・教授	３月13日～18日
Rudolf Bernet	ルーバンカトリック大学・教授	３月21日
Harunaga Issacson	ペンシルバニア大学南アジア研究科・助教授	５月15日～６月16日
金　　文吉	釜山外国語大学校東洋語大学日本語科・教授	６月27日～29日
牧村　保廣	イオナ大学歴史政治学科・助教授	７月14日～25日
Michael Luntley	ワーウィック大学哲学科・教授	９月５日
Gillian Carr	ケンブリッジ大学ヒューズホール校・研究員	９月12日～22日
Christopher Kelly	ケンブリッジ大学コーパスクリスティカレッジ・研究員	９月15日～26日
Katherine Clarke	ケンブリッジ大学セントヒルダズカレッジ・研究員	９月16日～23日
金　　文吉	釜山外国語大學校東洋語大學日本語科・教授	

9月19～21日
楊　普景　誠信女子大學校社会科学大學地理学科・教授
9月26日～10月3日
楊　普景　誠信女子大學校社会科学大學地理学科・教授
9月26日～10月3日
Huge Mellor　ケンブリッジ大学哲学科・名誉教授
9月28日～10月13日
金　文吉　釜山外國語大學校東洋語大學日本語科・教授
10月24日～26日
許　油　大韓仏教研究所・所長　10月24日～26日
Brian Massumi　モントリオール大学コミュニケーション学科・助教授
11月3日
Vladimir Uspensky　ロシア科学アカデミー東方学研究所
サンクトペテルブルグ支所・上級研究員　11月5日～24日
Thierry Zarcone　フランス科学研究院・研究員　11月15日
Elizabeth M. Craik　京都大学大学院文学研究科・元教授
11月17日～12月3日
Vladimir Sotirov　ブルガリア科学アカデミー・上級研究員　11月19日～20日
N. Toshov　ウズベク科学アカデミー東方学研究所・中級研究員
11月29日
K. Khudaiberganov　イチャン・カラ博物館内歴史博物館・部局長
11月29日
Peter Kornicki　ケンブリッジ大学東アジア研究所・教授　12月4日～11日
金　文吉　釜山外國語大學校東洋語大學日本語科・教授
12月18日～21日

平成16年

鄭　光　高麗大學校文科大學韓国語文学科・教授　1月14日～19日
Louis-Jean Calvet　エクス=アン=プロヴァンス大学・教授　1月22日～30日
Stephen C. Rowell　リトアニア歴史学研究所・上級研究員
2月29日～3月10日
Thomas Winkelbauer
オーストリア史研究所・助教授　3月4日～12月

Hubert Łaszkiewicz
ルブリンカトリック大学・助教授　3月4日～12月
Natalia Bolatti-Guzzo
ナポリ大学・上級研究員　3月6日
金　文吉　釜山外國語大學校東洋語大學日本語科・教授
3月6日～7日
James Moor　オープン大学・準教授　3月17日～19日
Randal Keynes　作家　3月17日～19日
Wesley Jacobsen　ハーバード大学東アジア言語文明学科・教授
4月6日～5月8日
David Sedley　ケンブリッジ大学古典学部・教授　4月13日
Sergio Sismondo　クイーンズ大学哲学科・準教授　4月17日
Alex Rosenberg　デューク大学哲学科・教授　5月14日
Colin Austin　ケンブリッジ大学古典学部・教授　5月23日～6月7日
René Depestre　作家　6月3日
Bruce Cumings　シカゴ大学歴史学部・教授　6月19日
金　文吉　釜山外國語大學校東洋語大學日本語科・教授
6月24日～27日
Valerie Hansen　エール大学史学科・教授　7月8日～12日
陳　明姿　國立台湾大學日本語文學系所・教授　7月14日～20日
朱　秋而　國立台湾大學日本語文學系所・助理教授　7月14日～25日
Brent Harmon Vine　カリフォルニア大学ロサンゼルス校西洋古典学科・教授
7月17日
Laura Hein　ノースウエスタン大学歴史学部・准教授　7月25日～27日
Birgit Kellne　オーストリア科学アカデミー・研究員　8月14日～31日
William Marx　パリ第八大学比較文学科・准教授　9月16日～27日
Bernard Gelt　ダートマス大学哲学科・教授　9月24日～25日
Annie Fourcart　パリ第一大学・教授　9月24日～25日
Marie-Claude Blanc-Chaleard
パリ第一大学・教授　9月24日～25日
Miklos Vetö　ポワティエ大学哲学科・教授　10月1日～16日
劉　丹青　中国社会科学アカデミー言語学研究所・教授

10月２日～９日
Simin Karimi　アリゾナ大学言語学科・准教授　10月16日
金　文吉　釜山外国語大學校東洋語大學日本語科・教授
11月12日～14日
Gilles Fauconnier カリフォルニア大学サンディエゴ校・教授　12月８日
董　乃斌　上海大学中文系・教授　12月９日～10月
Alexis G.J.S. Sanderson
オクスフォード大学・教授　12月10日
Colin Howson　ロンドン大学経済学院・教授　12月17日～18日
Margaret Morrison トロント大学・教授　12月17日～18日
Nuryoghdi Toshov ウズベキスタン科学アカデミー東洋学研究所・研究員
12月26日
Sanjar Guliomov ウズベキスタン科学アカデミー東洋学研究所・研究員
12月26日

平成17年

熊　月之　上海社会科学院歴史研究所・所長　１月６日～13日
Frank Veltman　アムステルダム大学・教授　１月19日～25日
James Higginbotham
南カリフォルニア大学・教授　１月19日～26日
Cleo Condoravdi パロアルト研究所　１月19日～27日
傍志　元　南カリフォルニア大学・准教授　１月19日～27日
金　文吉　釜山外国語大學校東洋語大學日本語科・教授
１月28日～30日
Abdurishid Yakup
ゲッティンゲン科学アカデミー・研究員　１月29日
Heejeon Ko　マサチューセッツ工科大学・博士課程　２月19日～25日
Francois Hartog フランス社会科学高等研究院・教授　３月３日
Werner Eck　ケルン大学・教授　３月４日～11日
Edward Opaliński
ポーランド科学アカデミー・助教授　３月４日～14日
張　小鋭　中国第一歴史檔案館編研部・副主任　３月17日～22日
郭　美蘭　中国第一歴史檔案館編研部・研究館員　３月17日～22日

劉　若芳　中国第一歴史檔案館編研部・副科長　3月17日～22日
劉　錚雲　中央研究院歴史語言研究所・教授　3月17日～22日
Georges Benrekassa
パリ第七大学・名誉教授　4月9日～23日
Marie-Claude Paris
パリ第七大学・教授　4月20日
金　文吉　釜山外国語大學校東洋語大學日本語科・教授
5月6日～8日
Asko Parpola　ヘルシンキ大学・名誉教授　5月29日～6月5日
Matthew Fraleigh　ハーバード大学東洋言語文明学科・博士課程
6月30日～7月4日
孫　昌武　南開大学中文系・教授　6月30日～7月4日
沈　慶昊　高麗大學校文化大學漢文学科・教授　6月30日～7月4日
金　文吉　釜山外国語大學校東洋語大學日本語科・教授
7月6日～10日
岡本　成子　カリフォルニア州立大学・教授　8月12日～20日
松本　善子　スタンフォード大学・教授　8月14日～24日
Stefan Kaufmann　ノースウェスタン大学・助教授　8月25日～28日
Peter Zieme　ベルリン・ブランデンブルグ人文科学アカデミー・教授
8月31日
Nils Buttner　ドルトムント大学・PD　9月9日～13日
Walter Demel　ミュンヘン大学・教授　9月17日～28日
林下　淳一　オタゴ大学・講師　9月21日～27日
Norbert Oettinger　エアランゲン・ニュルンベルク大学・教授
9月26日～10月2日
Richard Cross　オクスフォード大学オエールカレッジ神学科
9月27日～10月2日
楊　普景　誠信女子大學校社会科学大學・教授　9月30日～10月3日
金　文吉　釜山外国語大學校東洋語大學日本語科・教授
10月1日～3日
Diwakar Acharya　ハンブルグ大学・教授　10月9日～14日
黒田　成幸　カリフォルニア大学サンディエゴ校・教授

11月10日～12月25日

John McDowell　ピッツバーグ大学哲学科・教授　11月18日～19日

金　文吉　釜山外国語大學校東洋語大學日本語科・教授

12月３日～４日

Julian W. Connolly　ヴァージニア大学・教授　12月３日～13日

Brij Tankha　デリー大学・教授　12月５日

Susan Fischer　ロチェスター工科大学・教授　12月６日～25日

Elizabeth Craik　セントアンドリュース大学・名誉教授　12月７日

張本　研吾　ライデンアジア学研究所・研究員　12月７日～14日

室屋　安孝　ウィーン大学インド学チベット学研究所・研究員

12月８日～14日

牛　大勇　北京大学歴史系・教授　12月13日～19日

張　希清　北京大学歴史系・教授　12月13日～19日

閻　歩克　北京大学歴史系・教授　12月13日～19日

栄　新江　北京大学歴史系・教授　12月13日～19日

陳　平原　北京大学歴史系・教授　12月13日～19日

鄧　小南　北京大学歴史系・教授　12月13日～19日

王　鏗　北京大学歴史系・副教授　12月13日～19日

橋本　秀美　北京大学歴史系・副教授　12月13日～19日

Bruce Jennings　ヘイスティングス・センター・シニア研究員

12月23日～24日

平成18年

鄭　台燮　東國大學校・教授　１月５日～11日

金　文植　壇國大學校・助教授　１月６日～12日

張　寿安　台湾中央研究院・研究員　１月６日～12日

金　文吉　釜山外国語大學校東洋語大学日本語科・教授

２月３日～５日

Bernadette Bricout　パリ第七大学・教授　２月15日

John R.Patterson　ケンブリッジ大学・講師　２月27日～３月５日

Peter Johanek　ミュンスター大学比較都市史研究所・所長

３月８日～22日

James Higginbotham

	南カリフォルニア大学・教授	3月9日～26日
Min-Joo Kim	テキサス工科大学・助教授	3月10日～15日
Aurelijus Vijūnas	カリフォルニア大学ロサンゼルス校・研究員	3月10日～30日
李　宇峰	遼寧省万物考古研究所・研究員	3月24日～27日
万　雄飛	遼寧省万物考古研究所・研究員	3月24日～27日
Graham Priest	メルボルン大学哲学科・教授	4月21日
Ronald I. Kim	スワスモワカレッジ・助教授	5月17日～28日
富岡　諭	デラウェア大学・准教授	7月4日～6日
Danielle Mcbeth	ハヴァーフォード大学哲学科・教授	7月8日
Mark Siderits	イリノイ州立大学・教授	7月22日
Tim Fernando	トリニティカレッジ・講師	8月14日～16日
Kwan Chung	カトリック大学・教授	10月3日
Chungmin Lee	ソウル大学・教授	10月5日～10日
Michael Flynn	カールトンカレッジ言語学科・教授	10月12日
王　若	旅順博物館・副館長	10月12日～17日
Richard Zach	カルガリー大学哲学科・准教授	11月6日～14日
楊　聡	上海第二工業大学・教授	11月17日～20日
金　文吉	釜山外国語大学東洋語大学日本語科・教授	11月16日～21日

国　内

平成14年

原　聖	女子美術大学芸術学部・教授	11月2日～3日
羽場久泥子	法政大学社会学部・教授	11月2日～3日
重松　伸司	追手門学院大学文学部・教授	11月23日
花田　宇秋	明治学院大学教養教育センター・教授	11月23日～24日
樋口　康一	愛媛大学法文学部・教授	12月2日～3日、6日～8日
春田　晴朗	東海大学文学部・助教授	12月2日～3日
金　文吉	国際日本文化研究センター・客員教授	12月12日
寺岡　伸吾	甲南女子大学人間科学部・助教授	12月12日

野中　亮	大阪樟蔭女子大学人間科学部・講師	12月12日
Jacynthe Tremblay	広島日仏学院・講師	12月12日
小林　頼子	目白大学人間社会学部・助教授	12月15日～16日
尾崎　彰宏	東北大学文学部・教授	12月15日～16日
原　聖	女子美術大学芸術学部・教授	12月27日～28日
松本　悠子	中央大学文学部・教授	12月27日～28日
羽場久泥子	法政大学社会学部・教授	12月27日～28日

平成15年

Jacynthe Tremblay	広島日仏学院講師	1月21日
今井　尚生	西南学院大学文学部・助教授	1月29日～30日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	1月29日～30日
野中　亮	大阪樟蔭女子大学人間科学部・講師	1月30日
小原　克博	同志社大学神学部・助教授	1月30日
金　文吉	国際日本文化研究センター・客員教授	1月30日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	1月30日～31日
Jacynthe Tremblay	広島日仏学院講師	2月18日
陳　尚君	早稲田大学文学部・交換研究員	2月19日～21日
蔡　毅	南山大学外国語学部・教授	2月19日
羽場久泥子	法政大学社会学部・教授	3月2日～3日
原　聖	女子美術大学芸術学部・教授	3月2日～3日
松本　悠子	中央大学文学部・教授	3月2日～3日
羽田　正	東京大学東洋文化研究所・教授	3月2日～3日
茂木　秀淳	信州大学教育学部・教授	3月8日～9日
山内　志朗	新潟大学人文学部・教授	3月12日～13日
藤本　幸夫	富山大学人文学部・教授	3月14日～15日
野島　正宏	NHKエンタープライズ21・プロデューサー	3月14日～15日
井上　聡	東京大学史料編纂所・助手	3月14日～15日
杉本　史子	東京大学史料編纂所・助教授	3月14日～16日
W・J・ボート	ライデン大学ハウステンボス校・教授	3月14日～16日
石垣　壽郎	北海道大学理学部・教授	3月14日～17日
菅野　禮司	大阪市立大学理学部・名誉教授	3月16日

飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	4月25日～26日
今井　尚生	西南学院大学文学部・助教授	4月25日～26日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	4月25日～27日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	4月25日～27日
羽田　　正	東京大学東洋文化研究所・教授	4月25日～27日
羽場久泥子	法政大学社会学部・教授	4月25日～27日
原　　聖	女子美術大学芸術学部・教授	4月25日～27日
松本　悠子	中央大学文学部・教授	4月25日～27日
Jacynthe Tremblay	横浜日仏学院・講師	5月10日～11日
柴谷　方良	ライス大学言語学科・教授	5月21日
熊本　　裕	東京大学大学院人文社会系研究科・教授	5月24日～25日
杉原　桂太	名古屋大学大学院人間情報学研究科・博士後期課程	6月1日
和田　壽弘	名古屋大学大学院文学研究科・教授	6月7日
小野　　基	筑波大学哲学・思想学系・講師	6月7日～8日
吉水千鶴子	筑波大学現代語・現代文化学系・講師	6月7日～8日
片岡　　啓	東京大学東洋文化研究所・助手	6月7日～8日
高橋　孝信	東京大学大学院人文社会系研究科・教授	6月7日～8日
久間　泰賢	三重大学人文学部・助教授	6月7日～8日
茂木　秀淳	信州大学教育学部・教授	6月7日～8日
Jacynthe Tremblay	横浜日仏学院・講師	6月7日～8日
高　　正龍	立命館大学文学部・助教授	6月10日
増記　隆介	大和文華館・学芸部部員	6月21日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	6月27日～28日
今井　尚生	西南学院大学文学部・助教授	6月27日～28日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	6月28日～29日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	7月4日～6日
樋口　康一	愛媛大学法文学部・教授	7月12日～13日
戸倉　英美	東京大学大学院人文社会系研究科・教授	7月15日～16日
野島　正宏	㈱NHKエンタープライズ21・チーフ・プロデューサー	7月19日
羽田　　正	東京大学東洋文化研究所・教授	7月19日～20日

羽場久泥子	法政大学社会学部・教授	7月19日～20日
原　聖	女子美術大学芸術学部・教授	7月19日～20日
松本　悠子	中央大学文学部・教授	7月19日～20日
仲　滋文	日本大学理工学部・教授	9月2日～3日
中根美知代	非常勤講師	9月2日～3日
中田　良一	金蘭短期大学教授・教授	9月3日
Neil McLynn	慶應大学法学部・教授	9月19日～20日
原　聖	女子美術大学芸術学部・教授	9月19日～20日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	9月19日～20日
今井　尚生	西南学院大学文学部・助教授	9月19日～20日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	9月20日～21日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	9月20日～21日
Kenneth Robinson	国際基督教大学教養学部・準教授	9月26日～28日
橋本　雄	九州国立博物館（仮称）設立準備室・研究員	9月26日～28日
藤本　幸夫	富山大学人文学部・教授	9月26日～28日
鈴木　信昭	富山大学人文学部・教授	9月27日～28日
野島　正宏	㈱NHKエンタープライズ21・チーフ・プロデューサー	9月27日～28日
村井　章介	東京大学大学院人文社会系研究科・教授	9月27日～28日
野町　啓	流通経済大学流通情報学部・教授	10月4日～5日
森　雅彦	宮城学院女子大学学芸学部・教授	10月4日～5日
原　聖	女子美術大学芸術学部・教授	10月4日～5日
羽田　正	東京大学東洋文化研究所・教授	10月4日～5日
塩谷　賢		10月11日
村上　祐子	非常勤講師	10月11日
鈴木　聡	非常勤講師	10月11日
Jacynthe Tremblay		10月18日～19日
和田　壽弘	名古屋大学大学院文学研究科・教授	10月18日、25日
小川　英世	広島大学大学院文学研究科・助教授	10月18日、25日
小林　芳恵	広島大学大学院文学研究科・博士後期課程	10月18日、25日
畝部　俊也	名古屋大学大学院文学研究科・助教授	10月25日

江崎　公児	広島大学大学院文学研究科・修士課程	10月25日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	10月24日～25日
金　　玄	神戸大学大学院文学研究科・修士課程	10月25日
和田　壽弘	名古屋大学大学院文学研究科・教授	11月１日、８日、22日
畝部　俊也	名古屋大学大学院文学研究科・助教授	11月日、８日、15日、22日
小川　英世	広島大学大学院文学研究科・助教授	11月８日、15日、22日、29日
小林　芳恵	広島大学大学院文学研究科・博士後期課程	11月８日、15日、22日、29日
江崎　公児	広島大学大学院文学研究科・修士課程	11月８日、15日、22日、29日
伊藤　伸江	愛知県立大学文学部・教授	11月29日
小林　信之	京都市立芸術大学美術学部・助教授	12月６日
大越　愛子	近畿大学文芸学部・教授	12月６日
羽田　　正	東京大学東洋文化研究所・教授	12月６日～７日
松本　悠子	中央大学文学部・教授	12月６日～７日
羽場久泥子	法政大学社会学部・教授	12月６日～７日
瀬口　昌久	名古屋工業大学工学部・教授	12月20日～21日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	12月20日～21日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	12月20日～21日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	12月20日～21日

平成16年

片岡　一忠	筑波大学歴史・人類学系・教授	１月９日～11日
杜　　家驥	早稲田大学文学部・交換研究員	１月10日～12日
小川　英世	広島大学大学院文学研究科・助教授	１月10日、24日、31日
本田　義央	広島大学大学院文学研究科・助手	１月10日、24日、31日
江崎　公児	広島大学大学院文学研究科・修士課程	１月10日、24日、31日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	１月13日

藤本　幸夫	富山大学人文学部・教授	1月14日～16日
松本　悠子	中央大学文学部・教授	1月17日～18日
原　　聖	女子美術大学芸術学部・教授	1月17日～18日
畝部　俊也	名古屋大学大学院文学研究科・助教授	1月24日、31日
小林　芳恵	広島大学大学院文学研究科・博士後期課程	1月24日、31日
渡辺　俊和	広島大学大学院文学研究科・修士課程	1月24日、31日
小川　英世	広島大学大学院文学研究科・助教授	2月7日、14日、21日、28日
畝部　俊也	名古屋大学大学院文学研究科・助教授	2月7日、14日、28日
本田　義央	広島大学大学院文学研究科・助手	2月7日、14日、21日、28日
小林　芳恵	広島大学大学院文学研究科・博士後期課程	2月7日、14日、21日、28日
渡辺　俊和	広島大学大学院文学研究科・修士課程	2月7日、14日、21日、28日
江崎　公児	広島大学大学院文学研究科・修士課程	2月14日、21日、28日
野村　真理	金沢大学経済学部・教授	3月5日～6日
原　　聖	女子美術大学芸術学部・教授	3月5日～6日
羽場久泥子	法政大学社会学部・教授	3月5日～6日
羽田　　正	東京大学東洋文化研究所・教授	3月6日～7日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	3月5日～6日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	3月6日～7日
松浦　雄介	熊本大学文学部・助手	3月6日～7日
今井　尚生	西南学院大学文学部・助教授	3月6日～7日
小川　英世	広島大学大学院文学研究科・助教授	3月6日、20日
本田　義央	広島大学大学院文学研究科・助手	3月6日、20日
小林　芳恵	広島大学大学院文学研究科・博士後期課程	3月6日、20日
渡辺　俊和	広島大学大学院文学研究科・修士課程	3月6日、20日
江崎　公児	広島大学大学院文学研究科・修士課程	3月6日、20日
杜　　家驥	早稲田大学文学部・交換研究員	3月9日～11日

長谷川眞理子	早稲田大学政治経済学部・教授	3月18日
西脇　与作	慶應義塾大学文学部・教授	3月18日～19日
山本　誠作	関西外国語大学外国語学部・教授	3月20日
Kenneth Robinson	国際基督教大学教養学部・準教授	3月27日～28日
山村　亜希	愛知県立大学文学部・講師	3月27日～28日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	4月19日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	5月7日～8日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	5月8日～9日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	5月8日～9日
金　　承哲	金城学院大学人間科学部・教授	5月8日～9日
寺尾　寿芳	和歌山信愛女子短期大学・教授	5月8日～9日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	5月31日
神内　　郁	東京大学大学院・博士後期課程	6月11日～12日
侘美　真理	東京大学大学院・博士後期課程	6月11日～12日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	6月25日～26日
金　　承哲	金城学院大学人間科学部・教授	6月26日
塩谷　　賢		6月26日
寺尾　寿芳	和歌山信愛女子短期大学・教授	6月26日～27日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	6月26日～27日
佐々木博光	大阪府立大学総合科学部・助教授	7月10日
石坂　尚武	同志社大学文学部・教授	7月10日
釜谷　武志	神戸大学文学部・教授	7月10日
杉本　史子	東京大学史料編纂所・助教授	7月10日～11日
Kenneth Robinson	国際基督教大学教養学部・準教授	7月10日～11日
川村　博忠	東亜大学法学部・教授	7月10日～11日
金澤　周作	川村学園女子大学文学部・講師	7月10日～11日
西村　賀子	名古屋経済大学法学部・教授	7月10日～11日
新間　一美	甲南大学文学部・教授	7月16日
平田　雅博	青山学院大学文学部・教授	7月17日～18日
小西　昌隆	早稲田大学第一文学部・助手	7月17日～18日
宮原　　勇	愛知県立大学外国語学部・教授	7月19日
山梨有希子	南山宗教文化研究所・研究員	7月19日

奥田　博子	南山大学外国語学部・助教授	7月26日
楊　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	8月25日
渡辺　俊和	広島大学大学院文学研究科・博士後期課程	8月24日～25日
川尻　洋平	広島大学大学院文学研究科・博士後期課程	8月25日～26日
志田　泰盛	東京大学大学院文学研究科・博士後期課程	8月25日～26日
石田　尚敬	東京大学大学院文学研究科・博士後期課程	8月26日～27日
江崎　公児	広島大学大学院文学研究科・博士後期課程	8月26日～27日
成瀬　毅	広島大学大学院文学研究科・修士課程	8月27日～28日
寺田　俊郎	明治学院大学法学部・助教授	9月12日
舟場　保之	大阪大学大学院文学研究科・助教授	9月12日
Jacynthe　Tremblay		9月19日
高山　倫明	九州大学大学院文学研究科・助教授	9月21日
長井　伸仁	徳島大学総合科学部・助教授	9月25日
金　承哲	金城学院大学人間科学部・教授	9月25日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	9月25日～26日
松浦　雄介	熊本大学文学部・教授	9月25日～26日
小西　昌隆	早稲田大学第一文学部・助手	9月25日～26日
秋草俊一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・修士課程	9月25日～26日
楊　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	10月4日
Joseph Embley Emonds	神戸松蔭女子学院大学大学院文学研究科・教授	10月16日
Martin Robbeets	東京大学大学院・外国人研究員	10月22日～24日
板橋　義三	九州大学大学院芸術工学研究院・助教授	10月23日
西川　勝	京都市長寿すこやかセンター研究室・研究員	10月30日
楊　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	11月1日
沈　力	同志社大学言語文化教育研究センター・助教授	11月6日
楊　凱栄	東京大学大学院総合文化研究科・助教授	11月6日
秋草俊一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・修士課程	11月6日～7日
金　承哲	金城学院大学人間科学部・教授	11月13日
寺尾　寿芳	和歌山信愛女子短期大学・教授	11月13日～14日

松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	11月13日～14日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	11月12日～13日
高岸　　輝	大和文華館・学芸員	11月27日
萩原　　哉	総本山善通寺宝物館・学芸員	11月27日～28日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	12月６日
嘉田由紀子	京都精華大学人文学部・教授	12月８日
島津　忠夫	大阪大学・名誉教授	12月10日
深沢　眞二	和光大学表現学部・助教授	12月10日～11日
吉田　　豊	神戸市外国語大学・教授	12月11日
浜井　和史	外務省外交資料館・外務事務官	12月18日～19日
堀川　　徹	京都外国語大学外国語学部・教授	12月26日

平成17年

西里　喜行	琉球大学教育学部・教授	１月７日～10日
小浜　正子	日本大学文理学部・教授	１月７日～10日
村尾　　進	天理大学国際文化学部・助教授	１月７日～10日
吉澤誠一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・助教授	１月７日～10日
大田　　出	兵庫県立大学経済学部・助教授	１月８日～９日
橋本　伸也	広島大学大学院教育学研究科・助教授	１月８日～９日
上垣　　豊	龍谷大学法学部・教授	１月９日
佐々木博光	大阪府立大学人間社会学部・助教授	１月９日
金澤　周作	川村学園女子大学文学部・助教授	１月９日～10日
寺尾　寿芳	和歌山信愛女子短期大学・教授	１月29日～30日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	１月29日～30日
金　　承哲	金城学院大学人間科学部・教授	１月29日～30日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	１月29日～30日
深谷　晃彦	群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部・助教授	２月20日～23日
石居　康男	神田外語大学外国語学部・教授	２月20日～23日
片岡喜代子	非常勤講師	２月20日～23日
田中　大輝	九州大学大学院人文科学府・博士後期課程	２月20日～23日
皆川　　卓	非常勤講師	３月５日～６日
佐々木博光	大阪府立大学総合科学部・助教授	３月６日

栗原　麻子	大阪大学大学院文学研究科・助教授	3月6日
清水　宏子	通訳	3月6日
葛西　康徳	新潟大学大学院実務法学研究科・教授	3月6日～7日
森村　敏己	一橋大学大学院社会学研究科・助教授	3月6日～7日
楊　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	3月9日
中島　貴奈	長崎大学教育学部・講師	3月9日～10日
山村　亜希	愛知県立大学文学部・講師	3月19日～20日
岩崎　豪人	非常勤講師	3月20日
伊藤　均	非常勤講師	3月20日
杉本　泰治	T.スギモト技術士事務所	3月20日
野田　忠吉	住友金属工業・社友	3月20日
安井　伸	慶應義塾大学商学部・講師	3月20日～21日
貞好　康志	神戸大学国際文化学部・助教授	3月21日
楊　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	4月11日
松本　悠子	中央大学文学部・教授	4月17日
渡辺　靖	慶應義塾大学環境情報学部・助教授	4月17日
巽　孝之	慶應義塾大学文学部・教授	4月17日
金　承哲	金城学院大学人間科学部・教授	5月7日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	5月6日～7日
野村　明宏	四国学院大学社会学部・助教授	5月6日～7日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	5月7日～8日
秋草俊一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・修士課程	5月7日～9日
村上　祐子	非常勤講師	5月14日～15日
楊　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	5月16日
呉　咏梅	国際日本文化研究センター・客員研究員	5月25日
原　由理枝	デラウェア大学・博士号研究生	5月26日～29日
山村　亜希	愛知県立大学文学部・講師	5月28日
Kenneth Robinson	国際基督教大学教養学部・準教授	5月28日～29日
吉村　和真	京都精華大学表現研究機構マンガ文化研究所・研究員	6月6日
呉　咏梅	国際日本文化研究センター・客員研究員	6月15日

藤永　　壮	大阪産業大学人間環境学部・教授	6月18日
戸田山和久	名古屋大学大学院情報科学研究科・教授	6月25日～26日
三浦　俊彦	和洋女子大学人文学部・教授	6月25日～26日
松阪　陽一	首都大学東京大学院人文科学研究科・助教授	6月25日～26日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	6月27日
松本三和夫	東京大学大学院人文社会系研究科・教授	7月1日
沓掛　良彦	東京学芸大学人文社会科学系・教授	7月1日～2日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	7月8日～9日
松浦　雄介	熊本大学文学部・講師	7月8日～9日
山村　亜希	愛知県立大学文学部・講師	7月15日
永澄　憲史	京都新聞文化報道部	7月15日
吉澤誠一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・助教授	7月15日～16日
井上　文則	筑波大学第一学群人文学類・講師	7月15日～16日
佐々木博光	大阪府立大学人間社会学部・助教授	7月16日
藤井　真生	大阪市立大学・特別研究員	7月16日
金澤　周作	川村学園女子大学文学部・講師	7月16日～17日
亀井　伸孝	関西学院大学・COE研究員	7月21日
喜多　千草	関西大学総合情報学部・助教授	7月21日
清水　寛之	神戸学院大学人文学部・教授	7月21日
前田　　徹	早稲田大学文学部・教授	7月23日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	7月27日～28日
砂川有里子	筑波大学文芸・言語学系・教授	8月16日～20日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	8月25日～26日
中島　貴奈	長崎大学教育学部・講師	8月25日～27日
平井　靖史	福岡大学人文学部・助教授	9月9日～12日
秋山　　聰	東京学芸大学教育学部・助教授	9月9日～12日
岸　　文和	同志社大学文学部・教授	9月10日
天田　城介	熊本学園大学社会福祉学部・助教授	9月17日～18日
秋草俊一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・修士課程	

		9月17日～18日
愛甲　弘志	京都女子大学文学部・助教授	9月24日
本間　洋一	同志社女子大学学芸学部・教授	9月24日
堀川　貴司	鶴見大学文学部・教授	9月24日～25日
川本　真浩	高知大学人文学部・助教授	9月30日～10月1日
金　承哲	金城学院大学人間社会学部・教授	10月1日
竹内　泉	産業技術総合研究所・研究員	10月15日
Tadeusz Michał Litak		
	北陸先端科学技術大学院大学・客員研究員	10月15日～16日
加地　大介	埼玉大学教養学部・教授	10月15日～16日
村上　祐子	非常勤講師	10月15日～16日
早田　輝洋	大東文化大学外国語学部・教授	10月29日～30日
久保　智之	九州大学大学院人文科学研究院・助教授	10月29日～30日
風間伸次郎	東京外国語大学外国語学部・助教授	10月29日～30日
楊　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	10月31日
佐伯　順子	同志社大学社会学部・教授	11月16日
浜井　和史	外務省外交史料館・外務事務官	11月18日～19日
石原　俊	千葉大学大学院社会文化科学研究科・講師	11月18日～19日
門脇　俊介	東京大学大学院総合文化研究科・教授	11月18日～19日
園田　矢	NHK北京支局長	11月25日～27日
楊　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	11月28日
野村　明宏	四国学院大学社会学部・助教授	12月2日～3日
桂川　光正	大阪産業大学人間環境学部・教授	12月3日
光田　和伸	国際日本文化研究センター・助教授	12月3日
伊藤　玄吾	非常勤講師	12月3日
松浦　雄介	熊本大学文学部・助教授	12月3日～4日
川田　牧人	中京大学社会学部・教授	12月3日～4日
檜垣　樹理	足利工業大学共通課程・助教授	12月3日～4日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	12月3日～4日
赤井　益久	國學院大学文学部・教授	12月3日～4日
水野阿修羅	メンズサポートルーム大阪	12月7日
原田　環	県立広島大学人間文化学部・教授	12月9日～11日

剱持あずさ	山口県立美術館・学芸員	12月10月～11日
川端香男里	川村学園女子大学人間文化学部・教授	12月10月～11日
市田　泰弘	国立身体障害者リハビリテーションセンター学院・教官	12月10月～13日
村杉　恵子	南山大学外国語学部・教授	12月11日
木須井麻子	読売新聞・記者	12月12日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	12月19日
巌佐　　庸	九州大学大学院理学研究院・教授	12月19日～20日
児玉　　聡	東京大学大学院医学系研究科・助手	12月23日～24日

平成18年

片岡　　龍	東北大学大学院文学研究科・講師	1月6日～9日
小西　昌隆	早稲田大学・非常勤講師	1月7日
三浦　国雄	大東文化大学文学部・教授	1月7日～9日
安原　義仁	広島大学大学院教育学研究科・教授	1月8日～9日
金澤　周作	川村学園女子大学文学部・助教授	1月8日～9日
佐々木博光	大阪府立大学人間社会学部・助教授	1月9日
藤井　真生	大阪市立大学・特別研究員	1月9日
井上　文則	筑波大学第一学群人文学類・講師	1月9日～10日
川村　博忠	東亜大学総合人間・文化学部・教授	1月14日～15日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	1月23日
大澤　善信	関東学院大学文学部・教授	1月27日～29日
檜垣　樹理	足利工業大学共通課程・助教授	2月3日～4日
野村　明宏	四国学院大学社会学部・助教授	2月4日～5日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	2月4日～5月
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	2月4日～5日
松浦　雄介	熊本大学文学部・助教授	2月4日～5日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	2月27日
河原　　温	首都大学東京都市教養学部・助教授	3月11日～12日
轟木広太郎	関西大学・非常勤講師	3月11日
徳橋　　曜	富山大学人間発達科学部・助教授	3月11日
青谷　秀紀	神戸大学大学院文学研究科・助手	3月11日
藤井　真生	大阪市立大学・特別研究員	3月11日

井上　文則	筑波大学大学院人文社会科学研究科・講師	3月10日～11日
山田志乃布	法政大学文学部・助教授	4月9日～10日
守川　知子	北海道大学大学院文学研究科・助教授	4月21日～25日
寺山　恭輔	東北大学東北アジア研究センター・助教授	4月21日～23日
藤沢　　敦	東北大学埋蔵文化財調査室・特任助教授	4月21日～23日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	4月24日
池内　　敏	名古屋大学大学院文学研究科・教授	4月24日
野村　明宏	四国学院大学社会学部・助教授	5月19日～20日
坂部　晶子	島根県立大学総合政策学部・助手	5月19日～21日
金　　承哲	金城学院大学人間科学部・教授	5月20日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	5月20日～21日
水野　英莉	岐阜医療科学大学保健科学部・講師	5月20日～21日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	5月20日～21日
檜垣　樹理	足利工業大学共通課程・助教授	5月20日～21日
小野　　浩	京都橘大学文学部・教授	5月27日
秋草俊一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・博士課程	5月27日～28日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	5月29日
和田　　学	山口大学人文学部・助教授	6月9日～14日
坂部　晶子	島根県立大学総合政策学部・助手	6月16日～18日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	6月26日
川村　博忠	東亜大学総合人間・文化学部・教授	7月14日～15日
細川　道久	鹿児島大学法文学部・教授	7月14日～16日
秋草俊一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・博士後期課程	7月15日～16日
皆尾　麻弥	山口大学人文学部・講師	7月15日～16日
鈴木　　泉	東京大学大学院人文社会系研究科・助教授	7月16日～17日
杉山　直樹	学習院大学文学部・助教授	7月16日～17日
野村　明宏	四国学院大学社会学部・助教授	7月21日～22日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	7月21日～22日
寺尾　寿芳	南山宗教文化研究所・研究員	7月22日

佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	7月22日～23日
水野　英莉	岐阜医療科学大学保健科学部・講師	7月22日～23日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	7月24日
長谷川千尋	北海道大学大学院文学研究科・助教授	8月27日～30日
森　　若葉	総合地球環境学研究所・上級研究員	8月28日～9月1日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	8月30日
小西　昌隆	早稲田大学・非常勤講師	9月16日～9月17日
楊　　昆鵬	名古屋大学大学院文学研究科・博士後期課程	9月19日～9月20日
武田　雅哉	北海道大学文学研究科・教授	10月13日～10月15日
松本　悠子	中央大学・教授	11月4日
中戸川孝治	北海道大学文学研究科・教授	11月7日～11月12日
檜垣　樹理	足利工業大学共通課程・助教授	11月17日～11月18日
金　　承哲	金城学院大学人間科学部・教授	11月18日
澤井　義次	天理大学人間学部・講師	11月18日
水野　英莉	岐阜医療科学大学保健科学部・講師	11月18日～11月19日
坂部　晶子	島根県立大学総合政策学部・助手	11月18日～11月19日
野村　明宏	四国学院大学社会学部・助教授	11月18日～11月19日
佐藤　哲彦	熊本大学文学部・助教授	11月18日～11月19日
飯田　剛史	富山大学経済学部・教授	11月18日～11月19日
皆尾　麻弥	山口大学人文学部・講師	11月18日～11月19日
小西　昌隆	早稲田大学・非常勤講師	11月18日～11月19日
戸田山和久	名古屋大学情報学研究科・教授	11月18日～11月19日
春田　晴郎	東海大学文学部・助教授	11月25日
柳本　武美	統計数理研究所	12月6日
秋草俊一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・博士後期課程	12月9日～12月10日
皆尾　麻弥	山口大学人文学部・講師	12月9日～12月10日
小西　昌隆	早稲田大学・非常勤講師	12月9日～12月10日
橋本　　勝	大阪外国語大学・教授	12月16日
一ノ瀬正樹	東京大学大学院人文社会系研究科・助教授	12月16日

Ⅳ．京都大学大学院文学研究科学位取得者（学位規定第４条第１項該当）一覧
（平成14年11月～19年１月）

以下は、21世紀COEプログラム「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」の推進に参加する若手研究者のうち、上記期間に京都大学学位規定第４条第１項により京都大学博士（文学）の学位を取得した者の一覧である（学位記番号順に記載、日付は取得日）。

平成14年11月25日

徳永　誓子　　歴史文化学専攻
「修験道成立過程の研究」

沢﨑　壮宏　　思想文化学専攻
「デカルトの方法論：普遍学の計画と明証性の超越―普遍数学から普遍学への昇華と形而上学―」

松宮　園子　　文献文化学専攻
“Journeys toward the Unrepresentable: E. M. Forster’s A Passage to India and Virginia Woolf’s To the Lighthouse”（表象されざるものへの旅路：E・M・フォースターの『インドへの道』とヴァージニア・ウルフの『灯台へ』）

米田　健志　　歴史文化学専攻
「漢代官僚機構の研究」

金澤　周作　　歴史文化学専攻
「近代英国におけるフィランスロピー」

平成15年１月23日

吉岡　　潤　　現代文化学専攻
「ポーランドにおける戦後秩序形成過程の研究―共産党政権による政治的・民族的一元化―」

東　　幸代　　歴史文化学専攻
「日本近世における漁政・漁村史の研究」

甲斐　清高　　文献文化学専攻
“Dickens’s Pantomimic Vision in His Early Comic Novels”（ディケンズ前期の喜劇的小説におけるパントマイム的ヴィジョン）

平成15年３月24日

梅田　千尋　　歴史文化学専攻
「近世陰陽師集団と本所土御門家の研究」

平山　晃司　　文献文化学専攻
「古代ギリシアにおける刑法の起源と発展」

小林　　剛　　思想文化学専攻
「トマス・アクィナスの天体論―仮説と不可滅性―」

周藤　多紀　　思想文化学専攻
「トマス・アクィナスの認識論―魂の諸能力の協働―」

岸本　恵実　　文献文化学専攻
「十六・十七世紀キリシタン資料の研究」

赤羽　　律　　文献文化学専攻
「ジュニャーナガルヴァの『二諦分別論』」

久堀　裕朗　　文献文化学専攻
「浄瑠璃史の中の近松」

川島　朋子　　文献文化学専攻
「能・狂言の成立と変遷―間狂言を中心として―」

柴田　芳成　　文献文化学専攻
「お伽草子研究序説」

杉本　厚典　　歴史文化学専攻
「河内における弥生時代後期から古墳時代にかけての地域社会の動向」

青谷　秀紀　　歴史文化学専攻
「中世低地地方の歴史記述―フランドルとブラーバンドにおけるその展開―」

岡本　弘道　　歴史文化学専攻
「琉球王国の形成及び発展に関する研究―明朝との関係を中心に―」

小西　正人　　行動文化学専攻
「具体的発話への動詞の寄与―特にアスペクト的意味について―」

児玉　茂昭　　行動文化学専攻
「ギリシア語*s* 語幹中性名詞の歴史的研究」

小森　淳子　　行動文化学専攻
「ケレウェ語の記述研究―文法・接触による変容・言語文化―」

平成15年５月23日

白　　適銘　　思想文化学専攻
「唐時代山水画の研究―中国山水画のジャンル成立問題に関する歴史的考察―」

平成15年７月23日

横内　一雄　　文献文化学専攻

“Between Rhetoric and Realism: Exegetical Probings into James Joyce’s Fiction”（レトリックとリアリズムの間：ジェイムズ・ジョイスの小説の解釈的探求）

楊　　聡　　行動文化学専攻

「中国における流動人口の社会変容」

國重　裕　　文献文化学専攻

「表象のバルカン―ユーゴスラヴィア内戦に対する西欧知識人のまなざし」

木原　志乃　　思想文化学専攻

「ヘラクレイトス哲学とギリシア医学思想―生命と身体における「対立の一致」―」

Florin Popescu　文献文化学専攻

「キリシタン写本「講義要綱」の国語学的研究」

平成15年11月25日

東谷　　智　　歴史文化学専攻

「近世における武家奉公人の賦課・負担の構造」

山田　健二　　思想文化学専攻

「ラッセルの記述理論」

竹中　利彦　　思想文化学専攻

「デカルトにおける知性と感覚経験、情念との関係―数学、自然学、道徳を通して―」

平川　佳世　　思想文化学専攻
「十六世紀および十七世紀の北方ヨーロッパにおけるデューラー素描の絵画化に関する論考」

佐藤　直実　　思想文化学専攻
「蔵漢訳『阿仏国経』研究」

平成16年１月23日

森　慎一郎　　文献文化学専攻
“‘The Business of Creating Illusion’: *The Great Gatsby* and F. Scott Fitzgerald’s Art of Fiction”（「幻想を紡ぐ」―『偉大なギャツビー』とＦ・スコット・フィッツジェラルドのフィクションの技法）

平芳　幸浩　　思想文化学専攻
「戦後アメリカ美術とデュシャン受容の言説の関係」

板倉厳一郎　　文献文化学専攻
“The Magician’s Apprenticeship: John Fowles and Quest for Authenticity”（魔術師の修業時代―ジョン・ファウルズと真正性の探求）

林　　聖智　　思想文化学専攻
「南北朝時代における墓葬の図像の研究」

平成16年３月23日

山神　達也　　行動文化学専攻
「都市圏の人口動態に関する地理学的研究」

朴　　宣美　　現代文化学専攻
「植民地時期朝鮮における朝鮮人女子日本留学生の研究」

上杉　和央　　行動文化学専攻
「江戸時代における地理的知識の形成に関する歴史地理学研究」

阿部　利洋　　行動文化学専攻
「現代南アフリカにおける和解の問題―紛争後社会に関する宗教社会学的考察」

野田　智子　　思想文化学専攻
「Vàdhåla派に伝承されるDar÷apårãamàsa」

本井　牧子　　文献文化学専攻
「冥界を描いた経典と文学」

松浦　雄介　　行動文化学専攻
「記憶の社会学―不確定性について―」

佐々木茂人　　文献文化学専攻
「もうひとつのユダヤ性―カフカと東方ユダヤをめぐる考察―」

山口　正晃　　歴史文化学専攻
「魏晋南朝における都督制」

大野　晃嗣　　歴史文化学専攻
「明清官僚制の基礎研究―「同年歯録」を中心として―」

吉田　夏也　　行動文化学専攻
「日本語母音無声化の音声学的研究」

中田（有田）節子　行動文化学専攻
「（不）完全時制節と日本語条件文」

永井　佳代　　行動文化学専攻
“A Morphological Study of St. Lawrence Island Yupik: Three Topics on Referentiality”（セント・ローレンス島ユピック語の形態論的研究―レファレンシャリティにかかわる３つのトピックについて）

平成16年５月24日
久堀　領子　　文献文化学専攻
「和泉式部日記の本文と表現」

長谷川千尋　　文献文化学専攻
「室町期連歌の研究」

平成16年７月23日
笹川　尚紀　　歴史文化学専攻
「『古事記』『日本書紀』の初歩的考察―編纂者と大化前代の政治史をめぐって―」

承　　志　　歴史文化学専攻
「清朝八旗社会史研究」

井上　充幸　　歴史文化学専攻
「明代末期における江南の文人に関する研究」

櫻井　美幸　　歴史文化学専攻
「宗教改革期における都市と教会―都市ケルンを中心に―」

朴　　晋　　歴史文化学専攻
「日本近世倹約令の研究―江戸幕府倹約政策の展開と民衆の反応―」

熊谷　隆之　　歴史文化学専攻
「六波羅探題の研究」

大石　一男　　歴史文化学専攻
「明治二〇年代条約改正問題の研究―交渉戦略と国際環境―」

佐野　方郁　　現代文化学専攻
「日本政府の中国政策とアメリカ　1954-1958」

山口　育人　　現代文化学専攻
「アトリー労働党政権の対外経済政策　1945-1951年」

平成16年11月24日
西村　正秀　　思想文化学専攻
「ジョン・ロックの観念説―心、知覚、外界―」

姜　若冰　　文献文化学専攻
「「元軽」と「白俗」の間―元白居易比較詩論―」

山本　一也　　歴史文化学専攻
「日本古代の王権とキサキ」

尾下　成敏　　歴史文化学専攻
「織田政権下における織田系大名の研究」

橋本　正俊　　文献文化学専攻
「中世仏教説話の展開と和歌・縁起」

阪本　博志　　行動文化学専攻
「雑誌『平凡』に見る1950-60年代勤労青少年文化の社会学的研究」

石田あゆう　　行動文化学専攻
「近代日本における女性と消費文化の歴史社会学―明治・大正・昭和の婦人雑誌メディアの分析を通じて―」

井戸　　聡　　行動文化学専攻
「観光と開発の地域社会学―都市-農山漁村の関係と小コミュニティの実践―」

倉島　　哲　　行動文化学専攻
「身体技法と社会学的認識」

平成17年１月24日

Andrea Leonardi 思想文化学専攻
“Openness and Alterity: A Comparative Study of Nishida’s and Heidegger’s Philosophy”（開示性と他性―西田哲学とハイデッガー哲学の比較研究）

平成17年３月23日

後藤　正秀　　思想文化学専攻
「近代理性宗教論の研究―特にユダヤ教の視点から捉え直した理性宗教の歴史性―」

吉田　　寛　　思想文化学専攻
「ウィトゲンシュタインの「はしご」―『論考』における「像の理論」と「生の問題」―」

岩尾　一史　　歴史文化学専攻
「吐蕃の国家と支配体制」

本多　朱里　　文献文化学専攻
「柳亭種彦読本の研究」

奥野久美子　　文献文化学専攻
「芥川龍之介　歴史小説の方法」

林田　愛　　文献文化学専攻
「ゾラにおける進歩の概念　伝統的科学主義からの離脱」

近森　高明　　行動文化学専攻
「ベンヤミンの迷宮都市―都市のモダニティと陶酔経験」

村田　陽平　　行動文化学専攻
「ジェンダー地理学の再構築―空間と男性研究の可能性―」

川桐　信彦　　思想文化学専攻
「ティリッヒの芸術神学」

廣川　智貴　　文献文化学専攻
「ハインリヒ・フォン・クライストの文体―文体論からのアプローチ―」

大草　輝政　　思想文化学専攻
「プラトンの知識論―ソクラテスの探求方法をめぐって―」

保科（佐藤）季子　　歴史文化学専攻
「漢代皇帝權威の確立と學術思想の發展」

朴　玖　　歴史文化学専攻
「辛亥革命期における四川革命派の研究」

森谷　一樹　　歴史文化学専攻
「戦国から漢初にいたる官制史・官僚制史研究」

Szymon Grzelak　文献文化学専攻
“The Linguistic Category of Degree in Japanese and Polish: A Contrastive Study”（日本語とポーランド語における「程度」という言語的範疇の対照研究）

川島　　隆　　文献文化学専攻
「カフカ文学の中国・中国人像」

中尾　裕子　　文献文化学専攻
「現代ロシア語における指小接尾辞の使用」

森　　若葉　　行動文化学専攻
「シュメール語の動詞複数語基の研究」

平成17年５月23日

山﨑（林）のぞみ　文献文化学専攻
“Patterns and Functions of Unspecific Nominal Phrases in English: From Lexis to Discourse”（英語における抽象名詞句のパターンと機能　―語彙から談話へ―）

李　　淑珠　　思想文化学専攻
「「サアムシニーグ　Something」を描く―陳澄波（一八九五～一九四七）とその時代―」

平成17年７月25日

石原　　俊　　行動文化学専攻
「移動民・移住民の島々における占領経験と労働・生活世界の変容―小笠原諸島をめぐる「近代」経験の歴史社会学的研究―」

吉江　　崇　　歴史文化学専攻
「律令天皇制儀礼の研究」

平成17年11月24日

守川　知子　　歴史文化学専攻
「シーア派聖地参詣の研究―19世紀のイラン人とアタバート―」

渕原　智幸　　歴史文化学専攻
「中世成立期の東北と武士」

深谷　訓子　　思想文化学専攻
「ルネサンス・バロック絵画における「キモンとペロー」」

朴　　真完　　文献文化学専攻
「「朝鮮資料」の新研究―中・近世日韓語の対照から―」

服部　美樹　　文献文化学専攻
“Aspects of the ‘Poor Man’: Handicapped Lovers in Hardy’s Novels”
（「貧しい男」の諸相　ハーディ小説の不利な恋人たち）

冨永　　望　　現代文化学専攻
「象徴天皇制の形成と定着」

久木田水生　　思想文化学専攻
「ラッセルの論理主義」

土屋　育子　　文献文化学専攻
「元明清における戯曲テキストの継承について」

小山　順子　　文献文化学専攻
「新古今的表現の研究」

小黒　昌文　　文献文化学専攻
「プルーストとその時代　―芸術作品と土地をめぐる研究―」

平成18年１月23日
奥田　太郎　　思想文化学専攻
「ヒューム哲学における情念と倫理」

児玉　　聡　　思想文化学専攻
「ベンタムの功利主義の理論とその実践的含意の検討」

三谷　尚澄　　思想文化学専攻
「人間の合理的行為者性をめぐるカントの分析について」

谷川　穣　　歴史文化学専攻
「明治前期における教育／教化／宗教―その関係史的研究―」

鶴　　真一　　思想文化学専攻
「レヴィナスにおける超越の探究」

平成18年３月23日

長田　蔵人　　思想文化学専攻
「カント『純粋理性批判』における〈個〉と〈全体〉の問題―「自然的素質としての形而上学」の探究 ―」

東川　祥丈　　文献文化学専攻
「秦漢魏晋法思想研究」

和田　利博　　思想文化学専攻
「エピクロスの倫理学」

皿井　　舞　　思想文化学専攻
「平安彫刻史における定朝様の成立に関する研究」

Raelyn Lolohea Esau　行動文化学専攻
「トンガ人の国際人口移動とホスト国における経験―ニュージーランド・フィジー・日本の事例―」

志賀　浄邦　　文献文化学専攻
「推理論をめぐる仏教徒とジャイナ教徒の論争とその思想史的意義の考察」

大﨑　紀子　　行動文化学専攻
「チュルク語・モンゴル語の使役と受動の研究—キルギス語と中期モンゴル語を中心として—」

井黒　　忍　　歴史文化学専攻
「金元時代華北農業水利史の研究」

津田　明雅　　文献文化学専攻
「Catuhstavaとナーガールジュナ—諸著作の真偽性」

下垣　仁志　　歴史文化学専攻
「倭王権構造の考古学的研究」

中嶋　謙昌　　文献文化学専攻
「中近世移行期の能」

岩本　　崇　　歴史文化学専攻
「墳墓副葬品と古墳時代の社会」

Sandra Schaal　行動文化学専攻
「『女工哀史』言説についてのもう一つの視点：戦前日本における女性製糸業労働者の生活世界」

白井　聡子　　行動文化学専攻
「ダパ語における視点表示システムの研究」

千田俊太郎　　行動文化学専攻
“A Grammar of the Dom Language”（ドム語文法）

姜　素妍　　思想文化学専攻
「朝鮮王朝前期の王室周辺の仏教壁画―日本所在の遺品で見た抑仏時代の王室の仏教文化―」

碓井みちこ　　思想文化学専攻
「アルフレッド・ヒッチコック作品研究：映像と音によるサスペンスの諸相」

水越　知　　歴史文化学専攻
「宋元時代の祠廟信仰の変容と秩序形成」

箱田　恵子　　歴史文化学専攻
「在外公館の設立と近代中国政治外交」

平成18年５月23日
早川　文敏　　文献文化学専攻
「セリーヌ『城から城』の政治性に関する考察」

濱本　真実　　歴史文化学専攻
「「聖なるロシア」のイスラーム―17世紀におけるムスリム上層階級ロシア化の研究―」

福井　辰彦　　文献文化学専攻
「明治漢詩の比較文学的研究」

川上　陽介　　文献文化学専攻
「近世日本における中国白話文学研究」

平成18年７月24日

山口（和田）郁子　歴史文化学専攻
「マスリパトナムとゴールコンダ王国―17世紀インドの港市支配に関する研究」

鄭　賢珠　歴史文化学専攻
「近代日本教育行政における人事体制」

平成18年11月24日

小島　剛　行動文化学専攻
「科学技術とそのリスクの社会学」

右田　裕規　行動文化学専攻
「マスメディアの中の帝室―戦前期『大衆天皇制』の形成過程にかんする歴史社会学的考察―」

加藤　麻子　歴史文化学専攻
「律令制の導入と天皇制」

亀田　俊和　歴史文化学専攻
「室町幕府施行制度の研究」

堂薗　淑子　文献文化学専攻
「中国南朝詩の叙景と知覚表現」

平成19年１月23日

水野　英莉　行動文化学専攻
「サーフィンとスポーツ体験のエスノグラフィー　―ジェンダー・ローカリティ・コミュニティ―」

村田　泰子　行動文化学専攻
「母性の社会学的研究―〈実践における母性〉という観点から―」

中町美香子　　歴史文化学専攻
「平安宮変容過程の研究」

坂部　晶子　　行動文化学専攻
「「満洲国」経験の社会学―植民地の記憶のかたち―」

藤井　真生　　歴史文化学専攻
「中世チェコの政治的統合―君主、貴族、共同体―」

佐々木　崇　　思想文化学専攻
「認識論における可謬主義と自然主義」

若見　理江　　思想文化学専攻
「ハイデガーの存在の問いと現象学」

Ⅴ．COE研究員名簿ならびに研究題目一覧
（COE研究補佐員を含む）

以下は、本プログラムに参加したCOE研究員およびCOE研究補佐員の研究題目一覧である。COE研究員については、氏名の右に出身大学院を示している。なお、COE研究補佐員については、京都大学大学院文学研究科の所属専攻名を示している。

14年度
COE研究員

赤羽　　律　　京都大学大学院文学研究科
「ジュニャーナガルバの二真理説、及びチベット大蔵経テンギュール目録成立の問題」

池田　晋也　　京都大学大学院文学研究科
「ドイツ芸術家小説の変遷」

大野　晃嗣　　京都大学大学院文学研究科
「明清時代の人事制度とその運用に関する研究」

尾下　成敏　　京都大学大学院文学研究科
「織田政権期における政治・社会の変動」

河井　純子　　京都大学大学院文学研究科
「エリザベス・ギャスケルの小説研究」

川上　　穣　　京都大学大学院文学研究科
「『イリアス』の詩人と『オデュッセイア』の詩人の世界観における比較」

中島　貴奈　　京都大学大学院文学研究科
「中国文学ならびに同時代の俗文学との関わりから見た近世中・後期漢詩文の研究」

中町美香子　　京都大学大学院文学研究科
「平安宮及び内裏変容の研究」

西村　多恵　　京都大学大学院文学研究科
「明・清代の新ウイグル語について」

野村　明宏　　京都大学大学院文学研究科
「グローバル化におけるコミュニケーションに関する社会理論」

宮崎　　泉　　京都大学大学院文学研究科
「後期インド仏教とそのチベットへの伝播の研究」

山口　育人　　京都大学大学院文学研究科
「アトリー労働党政権の対外経済政策、1945-1951年」

和田　利博　　京都大学大学院文学研究科
「エピクロスの倫理学」

COE研究補佐員

岩井　俊平　　歴史文化学専攻
「プレ・イスラーム期中央アジアの考古学的研究」

大月　栄子　　思想文化学専攻
「偽ディオニュシオスにおける「類似しない類似」－新プラトン主義思想のギリシア教父への影響について」

剱持あずさ　　思想文化学専攻
「フィリッポ・リッピにおけるフランドル絵画の受容に関する研究」

瀬戸口明久　　現代文化学専攻
「環境問題の科学技術史、とくに害虫防除技術の歴史」

橋川　裕之　　歴史文化学専攻
「近代ヨーロッパのビザンツ研究とその政治性」

三宅　岳史　　思想文化学専攻
「ベルクソン哲学と近現代科学」

15年度
COE研究員

（赤羽　　律）

（池田　晋也）

大崎　紀子　　京都大学大学院文学研究科
「チュルク語における使役と受動について」

岡本　弘道　　京都大学大学院文学研究科
「14～16世紀、海域アジア世界における琉球王国の活動」

（尾下　成敏）

（河井　純子）

（川上　　穣）

皿井　　舞　　京都大学大学院文学研究科
「日本彫刻史における和様の成立とその規範化をめぐる問題」

（中島　貴奈）

（中町美香子）

（野村　明宏）

宮坂　康寿　　京都大学大学院文学研究科
「中世後期ケルン大司教領における領邦形成」

（宮崎　　泉）

（山口　育人）

（和田　利博）

COE研究補佐員

（岩井　俊平）

（瀬戸口明久）

竹内　綱史　　思想文化学専攻
「ニーチェ哲学の研究」

（三宅　岳史）

16年度
COE研究員

（赤羽　　律）

（池田　晋也）

（岩井　俊平）

（大崎　紀子）

（尾下　成敏）

（河井　純子）

（川上　　穣）

神崎　宣次　　京都大学大学院文学研究科
「合理性の制約の問題」

杉本　耕一　　京都大学大学院文学研究科
「東洋と西洋－京都学派を中心に－」

（中町美香子）

（野村　明宏）

箱田　恵子　　京都大学大学院文学研究科
「中国近代外交史の研究」

林下　淳一　　京都大学大学院文学研究科
「量化詞のスコープ解釈について」

吹戸　真実　　京都大学大学院文学研究科
「冷戦期アメリカ合衆国による東アジアシステムの構築と台湾」

福井　辰彦　　京都大学大学院文学研究科
「日中比較文学」

（三宅　岳史）

（宮坂　康寿）

（山口　育人）

（和田　利博）

COE研究補佐員

大浦　　真　　行動文化学専攻
「日本語の条件文における形式意味論」

土屋みづほ　　歴史文化学専攻
「弥生時代における石器生産と流通」

宮崎　もも　　思想文化学専攻
「江戸琳派について」

吉田　朋子　　思想文化学専攻
「十八世紀後半のフランスにおける風景画理論と制作」

17年度
COE研究員

長田　蔵人　　京都大学大学院文学研究科
「カントの全体性概念の研究」

（神崎　宣次）

佐藤　啓介　　京都大学大学院文学研究科
「公共空間と死者の記憶の場」

シモン・グジェラック　　京都大学大学院文学研究科
「日本語を中心とした程度表現の通言語的研究」

白石　竜彦　　京都大学大学院文学研究科
「後期インド仏教の刹那滅論」

永井　佳代　　京都大学大学院文学研究科
「シベリア・ユピック語の記述的研究」

（箱田　恵子）

深谷　訓子　　京都大学大学院文学研究科
「ローマを訪れた北方画家たちに関する研究（1570-1630年）」

（福井　辰彦）

保科　季子　　京都大学大学院文学研究科
「中国古代思想史の研究」

水野　英莉　　京都大学大学院文学研究科
「スポーツ体験とジェンダー」

溝上　宏美　　京都大学大学院文学研究科
「イギリス、アトリー政権（1945－51）の外国人受け入れ、再定住政策」

三谷　尚澄　　京都大学大学院文学研究科
「カントの実践哲学と現代英米系倫理学」

皆尾　麻弥　　京都大学大学院文学研究科
「ウラジミール・ナボコフ研究」

COE研究補佐員

阿部　拓児　　歴史文化学専攻
「古代ギリシア史の中のペルシア帝国」

稲垣　和也　　行動文化学専攻
「アジア諸言語の音声・音韻」

君塚　弘恭　　歴史文化学専攻
「18世紀初頭フランス王国の経済政策とボルドー商人社会の対応」

武田　良材　　（西洋）文献文化学専攻
「反ナチス亡命文学」

向井　佑介　　歴史文化学専攻
「隋唐文化形成過程の考古学的研究」

18年度
COE研究員

浅沼　光樹　　京都大学大学院文学研究科
「シェリングを中心とするドイツ観念論の研究」

井上　櫻子　　京都大学大学院文学研究科
「18世紀後半の描写詩の発展と、ルソーおよびディドロの人間論との関係」

塩谷　直史　　京都大学大学院文学研究科
「W.B.イェイツ研究」

衣畑　智秀　　大阪大学大学院文学研究科
「統語論的観点からみた日本語史の研究」

（佐藤　啓介）

佐野　勝彦　　京都大学大学院文学研究科
「非古典論理の意味論的研究」

（シモン・グジェラック）

（永井　佳代）

西村　正秀　　京都大学大学院文学研究科
「現代認識論」

水越　知　　京都大学大学院文学研究科
「中国近世の民間宗教史の研究」

（溝上　宏美）

（三谷　尚澄）

（向井　佑介）

好川　　聡　　京都大学大学院文学研究科
「中唐文学における異文化認識の研究」

COE研究補佐員

堀内　隆行　　歴史文化学専攻
「19－20世紀転換期南アフリカのブリティッシュ・アイデンティティ」

橋本　美佳　　歴史文化学専攻
「南海産貝輸交易にみる異文化交流」

岩野　祐介　　思想文化学専攻
「日本キリスト教思想・思想史における諸問題、特に内村鑑三と無教会主義」

金澤　雄介　　行動文化学専攻
「サルデーニャ語史的音韻論・形態論の研究」

人文知の新たな総合に向けて　第五回報告書 別冊

発行日　平成19年（2007年）3月31日

編集・発行　京都大学大学院文学研究科21世紀COEプログラム
「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」
代表者　紀平　英作

〒606-8501
京都市左京区吉田本町　京都大学大学院文学研究科
Tel.　075-753-2700
URL　http://www.hmn.bun.kyoto-u.ac.jp

印刷　株式会社　田中プリント

〒600-8047
京都市下京区松原通麩屋町東入る
Tel.　075-343-0006